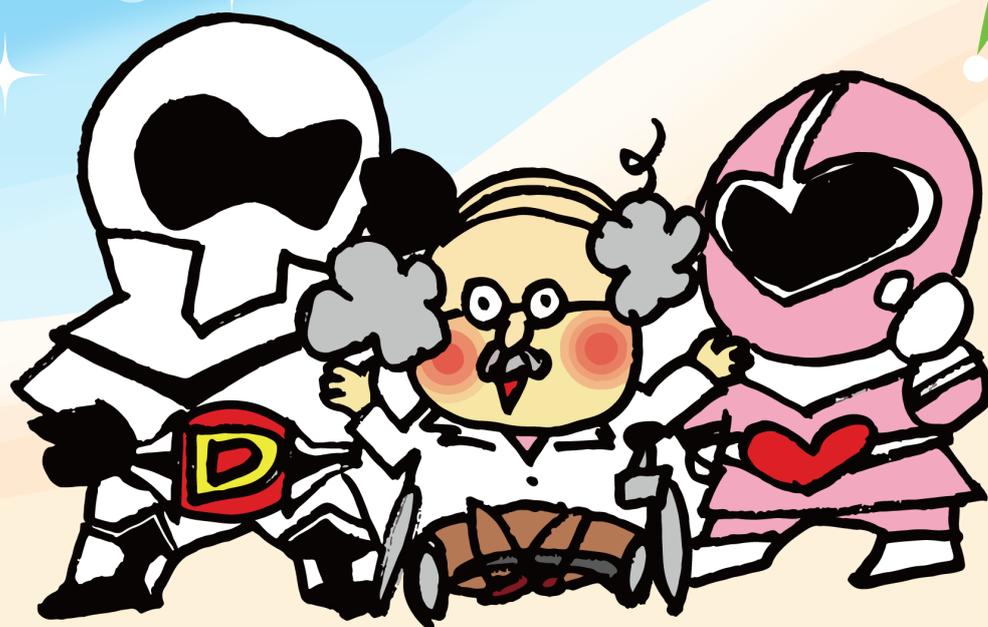


# 年次報告書2023



特定非営利活動法人  
自立生活センターSTEPえどがわ



## 01 ごあいさつ

## 02 2023 年度事業報告

### ① 自立支援事業

- 1) ピア・カウンセリング講座 ..... 3
  - ★ピア・カウンセリング集中と障害者ピアサポート研修 ..... 5
- 2) 自立生活プログラム (ILP) ..... 6
  - ★障害者が街を歩けば差別に当たる!? (水 Do 報告) ..... 7
- 3) 自立生活体験ルーム「Yattemi ~ Na !」 ..... 9
- 4) よろず相談 (なんでも電話相談)・個別相談 ..... 10
  - ★瑛太くんの就学支援に関わって ..... 11
- 5) 自費による介助派遣 ..... 13
- 6) 当事者コラム
  - 1. 関口悟「悠歩舎とぼくの一年半」 ..... 13
  - 2. 工藤登志子「重度障害者がパークゴルフの国際大会に出場してみた！」 ..... 14

### ② 権利擁護事業

- 1) 情報保障
  - 1. STEP の情報保障 ..... 16
  - 2. 鈴音キャラバン (情報保障を全国の CIL に!) ..... 16
- 2) 重度訪問介護利用者の権利擁護
  - 1. 江戸川区重度障害者大学等修学支援事業・就労支援特別事業 ..... 19
  - 2. 重度訪問介護利用者にとっての介護保険移行 ..... 21

### ③ 普及啓発事業

- 1) STEP の防災に関する取り組み ..... 23
  - ★集団広域避難訓練に参加させていただいて (チーム酒井) ..... 24

2) 地域へのアプローチ	
1. ナクセイバー活動報告 (小学校出前授業)	26
2. 学生へのアプローチ (大学講義・チャレドリ)	27
3. 江戸川さんしょうがいフォーラム・江戸川区特別支援学級学校進路フェア	29
4. もぐら祭りとおんぶズマン活動	30
3) 当事者参画 (当事者の声を届ける)	
1. 対外活動で取り組んだこと (制度政策関係)	31
2. バリアフリーリズム「旅ってやっぱりいいよね」	33
3. 東京都相談支援従事者研修検討会と江戸川区自立支援協議会	35
4. 第7期障害福祉計画パブコメ「市民の権利の行使とその喜び」	36
4) イベント	
1. STEP えどがわイベント再開!	38
2. 映画上映「こころの通訳者たち」～舞台手話の話～	39
3. バリアフリー演劇「星の王子様」	41
5) 広報活動の報告	43
6) 講師派遣やネットワーク作りのための外部協力活動	44

#### ④ 障害福祉・介護保険事業

1) 利用者数・ヘルパー登録数・派遣時間数	52
2) ヘルパー研修会	52
3) 利用者さん紹介	
1. 渡邊順子さん	54
4) Youは何しにSTEPへ?(ヘルパー紹介)	
1. 前田大祐さん	56
2. 皆元千穂さん	57

#### ⑤ 養成研修事業

### 03 その他

1) STEP えどがわの活動報告 (2023) と活動方針 (2024)・会計報告	61
2) 会員制度「ダンサなくし隊」の紹介「隊員募集！」	70

# 01 ごあいさつ

すてつぱ りじちよう いまむら のぼる  
STEPえどがわ理事長 今村 登

ひごろ たいへん せ わ  
日頃より大変お世話になっております。

さて、2023年度を振り返ると、「公私共に大きな転換期に突入し始めた年」であったと思  
います。

まずSTEPえどがわの活動としては、二人の新入社員が入ってきてくれ、猛烈なスタートダッ  
シュをかまし、次々と介助の現場に入り始めて現場を支えてくれました。それだけでも十分な  
活躍ぶりでしたが若さ溢れるパワーはそれだけにとどまらず、これまた次々と学生や他団体の  
方々との交流の場を設け、これまでになかったいろんな繋がりを生み出してくれました。その行  
動力は凄まじく、時にスピード違反や暴走注意の警告を出さねばならないほどエネルギッシュ  
なもので、STEPえどがわに新風を吹き込んでくれました。

また、新風といえば、前年度に行なったバリアフリー演劇やアメニティーフォーラムなどをき  
かけに、スタッフの中曾根鈴音を通じて他団体の若手職員の方々が来所してくれたり、これま  
た前年度にスタッフの工藤と布川が他の複数の自立生活センターの仲間とベトナム訪問をした  
繋がりで、その時の仲間たちとの交流も深まりました。防災活動においても、新たな集団広域  
避難訓練にチャレンジし、そこでも新たなつながりができましたし、複数の小学校から「出前  
授業」の依頼を受け、ダンサナクセイバーの需要も増えました。さらに新たに修学支援事業を  
活用し、大学生になった R さんの支援を始めたり、3歳から関わり始めた E くん(重度の  
医療的ケア児)が、地元の小学校への就学が決定したり、他事業所に繋いだ精神障害のある  
S さんが施設から出られ、通過型グループホームを経て念願の自立生活を実現し、みるみると  
明るい表情に変化していくのを目の当たりにしました。

文化庁の事業でバリアフリーツーリズムと文化芸術体験に、ALS を発症して以来初めてと  
なる飛行機での外泊旅行に挑戦した H さんをはじめ、このバリアフリーツーリズムに複数の方  
の参加を応援することもできました。

こうした新たな嬉しい繋がりがや出会い、出来事が多かった一方で、悲しい別れもありました。こ  
う書くと誰か亡くなってしまったような感じになってしまいましたが、そうではなく、みんなから愛

され慕<sup>した</sup>われていた大切<sup>たいせつ</sup>なスタッフのなっちゃんこと曾田<sup>そだ</sup>夏記<sup>なつき</sup>さんが、STEPえどがわを退職<sup>たいしよく</sup>し、  
実家<sup>じっか</sup>のある島根<sup>しまね</sup>県<sup>けん</sup>に帰郷<sup>ききょう</sup>することになりました。彼女<sup>かのじょ</sup>のおも<sup>おも</sup>い<sup>けつ</sup>と決意<sup>けつい</sup>を尊重<sup>そんちよう</sup>し、みんな笑顔<sup>えがお</sup>で送<sup>おく</sup>  
り出<sup>だ</sup>そうと決<sup>き</sup>め、送別<sup>そうべつ</sup>会<sup>かい</sup>ではなく「走行<sup>そうこう</sup>会<sup>かい</sup>（壮行<sup>そうこう</sup>会<sup>かい</sup>）」としたものの、やはり走行会<sup>そうこうかい</sup>も東京<sup>とうきょう</sup>駅<sup>えき</sup>  
のサプライズ大見送<sup>だいきみおく</sup>り隊<sup>たい</sup>も、結局<sup>けつぎよく</sup>涙<sup>なみだ</sup>なしにはいられませんでした。これが本当<sup>ほんとう</sup>の「総後悔<sup>そうこうかい</sup>」…な  
んちゃって（昭和<sup>しょうわ</sup>のオヤジギャグですみません）

最後<sup>さいご</sup>に私<sup>わたくし</sup>ごとで恐縮<sup>きょうしゆく</sup>ですが、2021年<sup>ねん</sup>に大き<sup>おお</sup>く体調<sup>たいちよう</sup>を崩<sup>くず</sup>して以来<sup>いらい</sup>、2023年度<sup>ねんど</sup>の終盤<sup>しゅうばん</sup>に  
なってようやく「復調<sup>ふくちょう</sup>してきたな」と実感<sup>じっかん</sup>できるまでになれたことは、ありがたく嬉しい<sup>うれ</sup>ことです。  
また、実家<sup>じっか</sup>の空き家<sup>あきや</sup>問題<sup>もんだい</sup>をきっかけ<sup>きっか</sup>に、これまた新<sup>あら</sup>たな出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>いも多<sup>おほ</sup>く生<sup>う</sup>まれた年<sup>とし</sup>でもありました。  
そんな新<sup>あら</sup>たな出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>いと別<sup>わか</sup>れを経<sup>けい</sup>験<sup>けん</sup>しながらも、「繋<sup>つな</sup>がり合<sup>あ</sup>うこと」「つながり続<sup>つづ</sup>けること」の  
大切<sup>たいせつ</sup>さやありがたみを実感<sup>じっかん</sup>した年<sup>とし</sup>でもありました。

ねんど じぎょう ほうこく  
 02 2023年度事業報告

じりつ しえん じぎょう  
 ① 自立支援事業

き ひるかわりようこ  
 (記: 蛭川涼子)

こうぎ  
 1)ピア・カウンセリング講座

かいさいじっせき ねん がつ ねん がつ  
 開催実績 2023年4月～2024年3月

めいしょう 名称	きかん ないよう 期間/内容	じっせき 実績
しゅうちゅうこうぎ 集中講座	にはくみつ か むいかかん 2泊3日/6日間 しょうがい ひと さんか 障害のある人のみ参加できる しょしんしゃ 初心者コース	なし
ビギナーズ	はんいち 半日 しょうがい さんか 障害のある人のみ参加できる たいけん 体験コース	かい 2回 8/23(水) @ 江戸川区東部区民館 参加者5名 10/27(水) @ 江戸川区東部区民館 参加者7名
たいけん 体験セミナー	はんいち 半日 しょうがい かが さんか 障害のあるなしに関わらず参加 たいけん できる体験コース	かい 1回 8/2(水) @ 江戸川区東部区民館 参加者12名

ねんど しゅうちゅうこうぎ  
 2023年度も、集中講座の  
 かいさい  
 開催をすることはできませんで  
 したが、いちこうぎ かいさい  
 したが、1日講座を3回開催す  
 ることができました。ピアサポー  
 ターという役割が注目されて  
 いることもあり、ピア・カウンセリ  
 ングへ関心を示して参加された  
 かた さんか  
 方も参加して下さったなあと  
 いう1年でした。



## 《参加者の感想》

### ◎ピアカン・ビギナーズ

- 初めての参加で緊張していましたが、思った以上に自分と向き合うよい機会になりました。また都合がつけば参加したいです。
- 参加者全員がお互いを認めあえる安全なスペースって凄くエンパワメントされることを初めて実感しました。会社や自立支援、親との関係性のなかで否定的なことを言われかなり落ち込んでいたのですが、昨日の講座を通して自分がやりたいことが少し見えてきたので、サクッとひとり暮らしして、もっとピアカンについて勉強して「当事者の未来に寄り添える」支援がしたいなと思いました。
- 長期講座の開催があればご連絡いただきたいです。

### ◎体験セミナー

- ピアカンの年間予定などあったら知りたいと思いました。集中講座、長期講座など開かれる場合、土日祝日も含めて開催だと私はとても参加しやすいと思いました。ピアカンの面白さを感じられる機会になりました。
- 普段仕事をする中で、どんな人も人なので、そもそもピアサポーターなんて必要？と疑問に思うことがあります。今回のセミナーに参加しピアの皆さんのなかで、自分の殻を外し、「私は私のありのままでもいいんだ」と感じる自分に気づきました。そしてやはりピア(サポーター)は

必要だとも思えました。私にとっては良い気づきになりました。どうもありがとうございました。

- 続けていきたい
- 学生時代に授業で【ピアサポート】などの言葉を聞いたことはあるが、認知症や精神疾患、がんサバイバーなどの当事者やその家族が(専門家主導)のもと行うものだと認識していたため、このように当事者同士でカウンセリング等を行う場を実際に体験することができて勉強になりました。
- ありがとうございました。貴重な体験をさせていただきました。また参加したいと思います。
- 久しぶりに参加して色々思い出しながらだったけど楽しかったです。
- ピア・カウンセリングは、これまでビギナーと集中講座を受講させていただいた事があります。今回の会は時間も短い上に、普段から交流のある方々が大半の構成であった事に加え、手話通訳の方等、外部の方もいる状況に、私自身がいろいろ意識してしまい、うまく馴染めず、疎外感？羞恥心？等、久々に感じて緊張してしまいました。その為、障害者だけのピア・カウンセリングの時の様に、気持ちを没入することが出来なかった事が少し残念でした。とはいえ、今回、そうした気持ち起きる理由等、私自身の新たな課題に気付けた事は大きな収穫でした。

ピア・カウンセリングと障害者ピアサポート研修  
ピアカウンセラーとピアサポーターはイコールか別ものか  
(記: 蛭川 涼子)

障害者ピアサポート研修は、2021(令和3)年の報酬改定で新設されたピアサポート体制加算を得るための条件として、突如浮上してきた印象があったので、よくわからないことばかりでしたが、東京都の研修を必死で追いかけた結果ようやく姿が見えてきました。

ピアサポーターという言葉は精神障害者の退院支援の中で広がっていったものです。入院経験のある精神障害者が加わるメリットを、退院支援を行っていた人たちが認識し始め、退院支援に加わる精神障害者を「ピアサポーター」と呼び、その役割を仕事にできないかと「ピアサポーター養成研修」なるものも登場し、これが「障害者ピアサポート研修」の土台になりました。

つまり、ピアサポーター養成研修は、「働く」ことを目的としていたので、障害者としての生活経験のある意味「資格」ととらえていて、仕事として活用するために「経験を言語化」したり、傾聴などのスキルが必要、というような切り口で研修が組まれています。また仕事である以上、頑張りすぎて休職になってしまうより、働き続けるためにできること、自分の障害を理解することを促すような内容にもなっています。

ピア・カウンセリングは、障害のある自分と向き合うことが主目的で、そこに対等性や守秘義務、傾聴(否定批判しない・アドバイスしない)のルールが根付いているので、ピアカンをしている人(ピアカウンセラー)はピアサポーターの資格(障害者経験)とスキルのひとつを持っていることになります。

世の中には自分の障害と向き合うために、いろいろなツールが使われています。それがピアカンだったり、WRAP(元気回復行動プラン)だったり、当事者研究だったり、心理教育やトリセツ作りだったり。こうしたツールを通して自分の経験を言語化(リカバリーストーリー)するところからピアサポーター(自身の障害経験をもって障害者支援を行う人)が生まれるのだと思います。つまり、ピアカウンセラーはいろいろな背景や経験をもつピアサポーターの一部になるかなと。

ピアサポーターへの道は、講座や研修を受けたらそれで終わり、ではなく、そこからさらにピアサポートの実践が必要になります。それは、ピアカンのセッションでもいいですし、障害者同士のグループ活動でもいいと思います。「対等」でいるためにはどうしたらいいだろうと考え続けることもピアサポーター

として大事なことだと思ひます。

ピアサポートに関心のある方は、STEPのピアカンに来てみてね。



2019年のSTEPのピアカン集中講座に  
 参加してくれたさちと東京都障害者ピアサポ  
 ート研修で再会！めっちゃうれしかった！

## 2) 自立生活プログラム(I L P)

一人暮らしに必要なことを一緒に考えたり、一緒に経験したりするのが自立生活プログラムです。  
 現在は、個別プログラムが主になっています。2023年度は、昨年に続いてI L Pを継続した人、新たに  
 I L Pを開始した人、年間を通して3名の方とI L Pを行いました。

### <2022年4月～2023年3月までの実績>

	実施回数
一人暮らしのイメージ作りをするための体験 ルーム利用の準備と振り返り	つき かい ごうけい かい けいぞく 月1～2回 合計2回(4/13、14)【継続】
ヘルパーの使い方、ヘルパー制度について	ごうけい かい けいぞく 合計1回(5/19)【継続】
一人暮らしのための家探しと体験ルーム利用 【新規】	つき かい ごうけい かい けいぞく 月1～4回 合計27回(6/27、7/4、11、25、27、 8/1、8、9/5、12、19、10/5、10、24、31、11/7、 14、12/12、1/9、23、30、2/13、20、27、3/5、 12、19、26)【継続】

びょうき ちりょう あいえるぴー だんねん え がくぎょう へいこう あいえるぴー おこな むずか  
病気の治療でILPを断念せざるを得なかったり、学業と並行してILPを行うことの難しさを  
じっかん くるま いえ さが ほんとう らく あらた かん ひとり  
実感したり、車いすで家を探すと、本当に楽じゃないなあと改めて感じたり…これからも一人ひとりのペースに合わせて、少しずつでいいから強くなれるサポートをしていきます。

## すいようどう ◎水曜Do(どう)でしょう

ねんど えどがわくしゃきょうさま じよせいきん  
2023年度は、江戸川区社協様の助成金を  
かつよう ひよう にハードルを感じていた「やってみ  
たかったこと、行ってみたかったこと」にチャレンジ  
することもやってみました。その結果、ご近所さん

たいけん たの すこ  
での「ものづくり体験」は楽しくできましたが、少し  
あし の 足を延ばしてみようとチャレンジした工場見学や  
にゅうてん かべ たか  
入店の壁はまだまだ高かった…！

## しょうがいしゃ まち ある さべつ あ すいどう-ほうこく 障害者が街を歩けば差別に当たる！？(水Do報告)

きくどうとしこ  
(記:工藤登志子)

ねんど すてつぷ すいようどう すいどう- しんきかく ぼう  
2023年度よりSTEPえどがわでは「水曜Doでしょう！?(以下、水Do)」という新企画をはじめました。某  
ばんぐみ ほうぶつ なまえ きかく おも すてつぷ りようしゃ すてつぷ かか おも  
テレビ番組を彷彿とさせる名前のこの企画は、主にSTEPえどがわの利用者さんやSTEPと関わりたいと思  
ちいき かたがた たいしやう いっしょ おもしろ  
っている地域の方々を対象に、「一緒に面白いことをやろう」というゆるゆるなコンセプトで始めた日中  
かつどう おこな かつどう どうげい ふうりんづく づく にぎ すみづく しょうどう かくかい  
活動です。これまでに 行った活動は、陶芸、風鈴作り、タイルアート、パン作り、握り墨作り、書道。各回の  
さんかしゃ へいきん にん まいかい  
参加者は平均5~10人と、毎回みんなでワイワイおしゃべりをしながらにぎやかに過ごしました。

いっけん たの み すいどう- いっぼう しょうがいしゃさべつ ちやくめん きかく  
一見すると楽しそうに見える水Doですが、一方で「障害者差別」にたくさん直面した企画でもありまし  
とく フィールドトリップ(お出かけ企画)では「行こうとしたけど行けなかった」経験ばかりでした。例えばピ  
こうじょうけんがく いどう じかん りゆう ふくすう くるま こたわ ねこ  
ール工場見学では、移動に時間がかかるという理由で複数の車いすユーザーはお断り。猫カフェでは、  
えいせいめん りゆう くるま にゅうてん こたわ ほか い ぼしよ くるま  
衛生面を理由に車いすでの入店をお断り。他にも行こうとする場所がごとく車いすでアクセスでき  
ない作りやサービスになっていて、改めて障害者が社会参加することの困難さを実感しました。

すいどう- た あ どうしや たの あそ ひび いそが ぬ だ いきぬ  
水Doを立ち上げた当初は、みんなでのんびり楽しく遊ぼう〜と、日々の忙しさから抜け出して息抜き  
はんぶん き こうしやう あ く いちねん わたし しょうがいしゃ  
半分でやっていくはずだったのに、気づけば交渉に明け暮れた一年でもありました。私たち障害者は、ゆる  
あそ いっしょうけんめいこうしやう いぬ ある ぼう あ  
ゆる遊ぶだけでも一生懸命交渉しないといけないなんて…。「犬も歩けば棒に当たる」ということわざ  
も しょうがいしゃ まち ある さべつ あ ひにくま ことば ほんとう とお  
を模して「障害者が街を歩けば差別に当たる」なんていう皮肉交じりの言葉もありましたが、本当にその通り  
かな  
だなあと感じました。

2016年に障害者差別解消法が施行されてから早7年。2024年4月からは民間企業での合理的配慮も義務化されました。それでも、今なお障害を理由とした差別は存在していて、合理的配慮の理解も広くは浸透していません。今後、障害者がどこにでも自由に行けて、障害のない人々と対等に社会参加できるような日は来るのでしょうか！？

2024年度こそはのんびりゆるゆると遊びたいな・・・と思いつつ、なんでもない街の風景に障害者も当たり前前に存在している社会になるよう、今後ともめげずにたくさんお出かけして一般市民の視界に入っていこうと思います。

2023年度の活動

4～5月	打ち合わせ	1年間で何をするかスケジュール作り
6月	風鈴作り教室	篠原風鈴本舗でガラス吹きからの絵付けに挑戦！
7月	ビール工場見学	車いすユーザーは2名までと言われ断念…
8月	ねこカフェ	車いすは降りないとダメと言われ断念…
9月	タイルアート教室	ご近所の雑貨店Douceさんで素敵なたイルアート作り♡
10月	B B Q	舞浜B B Qの庭さんで手ぶらB B Q！雨だった
11～12月	ツリー飾り& ネームプレート作り	STEPのクリスマス会を引き立てるべく、ツリー飾りと紙コップ用ネームプレートを手作り
1月	パン作り教室	焼き立てパンをほおぼる幸せ
2月	握り墨教室 & 習字教室	墨の歴史を学びながら墨作りに挑戦！



風鈴作り:みんなで絵付け中～！



ぼーベきゅー そと しょくじ あめ かん  
 BBQ:外での食事って雨でもおいしいと感じるのは  
 なんでだろう?!



づく っく き いちにんまえ  
 パン作り:エプロン付けて…やる気だけは一人前w

### じりつせいかつたいけん やって み ー な 3)自立生活体験ルーム「Yattemi~Na!」(やってみ~な)

やってみ~な じりつせいかつ  
 Yattemi-Na(やってみ~な)は、自立生活を  
 め ぎ しょうがいしゃ ちいきない  
 目指す障害者が、地域内にあるマンションにて、  
 じっせいかつたいけん ぼしよ へや  
 実生活体験をすることのできる場所です。部屋に  
 でんどう よくしつよう ほか  
 は電動ベッドやトイレ・浴室用のリフトの他、ミニキ  
 っちな せんたくき せっち あいえるびー とお  
 ッチンや洗濯機も設置されています。ILPを通  
 じぶん ひつよう かいじょないよう かくにん じっさい  
 して、自分に必要な介助内容を確認したり、実際  
 ふくしきき つか ふだん かぞく しせつしょくいん  
 に福祉機器を使ったり、普段は家族や施設職員に  
 まか かじ けいけん  
 任せがちな家事の経験もできます。

あいえるびーもくてき たいけん  
 また、ILP目的だけでなく、体験ルームに  
 せっち りよう  
 設置しているリクライニングベッドを利用してみた  
 い、といらした方や、コロナ自粛が無くなり、イベン  
 たすうさいかい なか  
 トが多数再開する中、ホテルのバリアフリールーム  
 た たりず こま ひと りようていきよう  
 が足りず、困っている人への利用提供もしました。  
 あいえるりよう くべつ ない きさい  
 (IL利用とは区別するため、【 】内に記載してい  
 ます)

<2023年4月～2024年3月までの利用実績>

・自立生活のための利用 2名(1回の平均利用日数3日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	1	0	1【1】	1	1	0
利用日数	2	0	2【1】	3	4	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用人数	1	0	1【1】	1	1	0
利用日数	3	0	3【3】	4	6	0

4)よろず相談(なんでも電話相談)・個別相談

STEPえどがわは、障害にまつわる相談なら、どんな相談でもまず聞きます。障害当事者スタッフも介助コーディネータースタッフも関係なく、対応します。

多くのよろず相談は、単純な問合せも含め、その場で終わることも多いですが、具体的なサポ

ートが必要ではないかと判断されたときは、個別に時間を取って対応をしています。それは、個別あいえるびー I L P に発展したり、STEPの権利擁護活動に発展したりしています。

よろず相談から個別相談(面談対応)した実績<2023年4月～2024年3月>

相談者	相談内容(対応回数)
女性 20代 身体	介助者を増やしたい(2回)
女性 60代 身体	親が高齢で介助ができなくなったけれど施設に入りたくない。一人暮らしをしてみたい(2回)
男性 50代 身体	退院後の在宅生活について知りたい(2回)
男性 40代 精神	手話を覚えたい。仕事の悩みを聞いてほしい(1回)
男性 40代 身体	介助者を使いたい(1回)

## えいたくん しゅうがくしえん かか 瑛太君の就学支援に関わって

きくどうとしこ  
記:工藤登志子

すてつぷが えいたくん はじ で あ いま すうねんまえ いりょうてき ひつよう こさま えいたくん  
STEPが瑛太君と初めて出会ったのは今から数年前。医療的ケアを必要とするお子様(瑛太君)への  
かいじょはけん いらい う すてつぷない はな とき いま ちい あか おお  
介助派遣の依頼を受けてSTEP内で話した時、「今はまだ小さな赤ちゃんだけど、これから大きくなって  
じぶん いし も とき すてつぷ ほんにん じりつ たいせい りじちよう  
自分の意志を持つようになった時、STEPは本人の自立をサポートできる体制でいたい」という理事長  
ことば うなず かいじょはけん えいたくん かかわ  
の言葉にみんなも頷き、介助派遣から瑛太君との関りがスタートしました。

はけんとうしょ りょうしん すてつぷ き しょうがっこう だいぜんてい  
派遣当初からご両親もSTEPのみんなも気になっていたのは小学校のことでした。大前提として  
ちいき こども ちいき しょうがっこう かよ あ まえ しょうがい いりょうてき  
地域の子どもが地域の小学校に通うのは当たり前のことですが、障害のある、さらに医療的ケアを  
ひつよう こ さまざま ま う げんじつ こうしゃ  
必要とする子どもとなると、様々なハードルが待ち受けているのが現実です。それは校舎のバリアフリー  
といた ぶつりてき がっこう た ほごしゃ う い たい しんりてき  
といった物理的なものだけでなく、学校や他の保護者たちの受け入れに対する心理的なハードルもあり  
ます。実際に全国各地で地域の通常級への入学拒否や、入学を巡って裁判も起きていたことから、  
えどがわく たいいん しんばい  
江戸川区でもそれなりに大変なのかもしれないな…という心配がありました。

こくれん さだ しょうがいしゃけんりじょうやく しょうがい ひと ひと とも まな きょういく ほしろう  
国連が定める障害者権利条約では障害のある人もない人も共に学ぶインクルーシブ教育が保障  
されていなければならないとしていますが、日本は締約国にも関わらずまだまだ分離教育の考えが  
ねづよ きょういく じっせん い じょうきよう ねん  
根強く、インクルーシブ教育が実践されているとは言えない状況です。これについては2022年の  
たいにちしんさ こくれん かんこく う  
対日審査でも国連から勧告を受けていました。

ちいき しょうがっこう い とくべつしえんがっこう い つうじょうきゆう とくべつしえんがっこう  
地域の小学校へ行くのか特別支援学校へ行くのか、通常級なのか特別支援学級なのか…それぞ  
れにメリット・デメリットがあり、何が正解で何が不正解かなんて答えはないと思います。ただ、誰にも阻  
がい ほんにん かぞく いし せんちよう せんたく かんきよう しょうがい う む かか  
害されることなく、本人や家族の意志を尊重した選択をできる環境があること、障害の有無に関わ  
らず誰もが当たり前の機会を得られることは何よりも大事なことです。

そん なか ねんど えいたくん りょうしん なんと きょういくいいんかい かたがた しゅうがく む はな あ  
そんな中で2023年度は瑛太君のご両親が何度も教育委員会の方々と就学に向けて話し合いを  
おこな すてつぷ そうだんやく たちば どうせき はな あ なか いんしりてき  
行いました。STEPも相談役の立場で同席させていただいたのですが、話し合いの中で印象的だった  
ことは、ご両親が初めて地域の小学校へ通いたい意志を伝えた時のことです。思ったよりもあっさり  
ちいき つうじょうきゆう にゅうがく き かんたん みがま わたし  
と、地域の通常級への入学が決まったのです。簡単にはいかないだろうと身構えていた私たちは  
いがい へんとう ひょうしめ けつてい いりょうてき じおよ かぞく たい しえん かん  
意外な返答に拍子抜けするほどでしたが、この決定には「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関  
する法律(通称、医療的ケア児支援法)」の影響が大きかったと思います。実際に教育委員会の方も  
しえんほう とお かぞく ほんにん い がっこう い はな ほうりつ こうか かん  
「支援法の通り、ご家族や本人が行きたい学校に行けるようにします」と話しており、法律の効果を感じ

ました。

さて、入学が決まったのは良いですが、大変なのはここからでした。瑛太君が地域の通常級を選択したのは「地域の友達と一緒に授業に参加できるから」です。しかし校舎のバリアフリー事情等もあり、教育委員会から当初提案されたのは「瑛太君だけ別の部屋でオンライン参加」でした。これでは地域の学校に通う意味が全くありません。エレベーターのない校舎の2階に上がるために使用するキャタピラ（階段昇降機）も、「瑛太君の車いすでは軽すぎて乗れません」と。。他にも「ええ？それ本当ですか??？」というようなことがいくつも出てきました。本人抜きに提案されたそれらを、ご両親と瑛太君は一つ一つ丁寧に説明し、理解してもらわなければなりません。軽すぎて乗れないと言われたキャタピラも、実際に瑛太君が立ち会って検証したら乗れたし。何なら瑛太君は目をキラキラさせて楽しんでたし。（笑）

本人のことを知ればそんなに大した問題じゃないのに、知らないが故に大きな問題にされていることは瑛太君に限らず私たちが障害者の周りで日々、多々あります。では、どうやったら私たちのことを知ってもらえるのか。それはやはり、障害者がどんどん地域へ出て、人々の視界の中に入り、存在に気づいてもらうことだと思います。そういう意味でも瑛太君が地域の小学校へ入学したことは、社会を変えるととても大きな一歩だったと思います。

結局、入学までに課題を全てクリアすることは間に合いませんでしたが、それでも入学式の日には小学校の門の前で、満開の桜とともに笑顔で並ぶ瑛太君とご両親の写真を見た時はなんとも胸が熱くなりました。瑛太君、入学おめでとう!!!これから学校でたくさんの楽しい思い出ができますように。STEPは今後も引き続き瑛太君の学校生活を全力で応援していきます!



## 5) 自費による介助派遣

STEPえどがわでは、十分な支給決定がされず不足する介助時間、障害福祉サービスで認められていないけれども障害者の生活にとって必要不可欠とされる事柄に必要な介助派遣につ

いて、自費による介助派遣を行っています。また、一人暮らしを旨として体験ルームを利用しながらヘルパー利用の体験も行う人向けに、IL用の派遣もしています。

利用した人数	13名(うち2名はIL対応)
派遣時間数	1,042時間(うちIL対応は23時間)

## 6) 当事者コラム

### 1. 関口悟「悠歩舎とぼくの一年半」

思えば、ぼくが悠歩舎に通い始めて、この4月で一年半になる。悠歩舎は主に精神障害者が日中いろいろなことをして過ごす場所だけど、ぼくのように精神・発達障害だけでなく身体に障害を併せ持つ仲間もいる。

ぼくが悠歩舎に通うきっかけは、それまでSTEPえどがわの中でぼくのサポートチームを作って、ぼくのことを理解しようとしてくれて来たけれど、あまりにもぼくの起こすトラブルが多過ぎて、専門家に任せるしかないということになり、縁あって悠歩舎に週2回通うことになった。

悠歩舎に通い始めて、ぼくはいろいろなことを経験した。毎回のミーティングや月1回の運営会議でのやり取り、旅行、スポーツ活動、カラオケや音楽(バンド)活動、そして仲間たちとのふとした会話から様々な新しい試みが見



てきた。

そして、こうした経験が、ぼくが江戸川区精神障害者ピアサポーター研修を受けるきっかけをくれた。

もちろん良かったことばかりではない。仲間同士の争いもたくさん見てきたし、その中には、旅行などでの車椅子に乗っているぼくの扱いに関することがきっかけだったこともあった。

でも、それも含めてぼくのことを理解しようとして  
いる仲間たちがいることが、悠歩舎に通い続ける  
動機づけになった。

これからも悠歩舎に通い続けていく中で、いろ

いろなことがあるだろう。良いことばかりでなく、  
つらいことや悩むこともあるだろう。その中で、悠  
歩舎の仲間たちと自分らしく生きていくことを目  
指していきたい。

## 2. 工藤登志子「重度障害者がパークゴルフの国際大会に出場してみた！」

2023年9月10日～14日、韓国のソウルで行  
われた「2023 ソウル国際招待 障害者パーク  
ゴルフトーナメント」に出場してきました。事の  
発端は、8月下旬頃に朋友である D P I の S  
事務局次長からの電話でした。「ねーとっしー、ちょ  
っと相談があるんだけど…」D P I からの相談  
はほぼ仕事の話です。うわー、また何か難しい  
話か！？と構えていると、「今日は良い話！タ  
ダで韓国行けるよ。」と。ソウルで障害者向けのパ  
ークゴルフ大会が開催されるらしく、日本代表  
として参加できる障害者を探しているとのこと  
でした。え！行きたい！！直感的に面白そう  
と感じて即答しました。もちろんゴルフ経験は  
一度もありません。パークゴルフって何？普通のゴ  
ルフと違うの？というレベルでしたが、まあボッチ  
ャは得意な方だし球技なら何とかなるっしょ、とい  
う根拠のない自信がありました。

しかし行くと決めたものの、問題は介助をどう  
するかです。私は日々の生活の中で身体的な  
介助が必要で、介助がないとトイレに行くことも、  
車いすからベッドに移って寝ることもできませ  
ん。私が大会で輝くためには介助者が絶対  
必要なのです。とはいえ大会は約3週間後という

こくさいたいかい しゅつじょう

きゅう  
急なスケジュールで4泊5日の日程を空けられ  
る介助者を探すのは困難でした。STEPはただで



さえ人手不足なのに、私の道楽(?)でみなさん  
に負担をかけるのは申し訳ない…。その一方で、  
介助の理由だけでまたとないチャンスを逃すのは  
勿体なさすぎる。本音は行きたい。そこで勇気を  
出して周りの人たちに自分の想いを話してみました。  
すると、別のCILのスタッフがすぐに家族や  
知り合いに掛け合ってください、ちょうど夏休み  
中だった一人の女子大生が介助者として同行し  
てくれることになりました。ああ、私には応援して  
くれる仲間たちがいる…こうやって自己実現して  
いくんだなあ…と感動したのを覚えています。  
介助者が決まったらなれば、あとは優勝を目指し  
て練習するのみです。傘をゴルフクラブに見立て  
て紙を丸めたボールをごみ箱に入れる練習を

事務所でやった時は、コーディネーターたちもみんな仕事の手を止めて付き合ってくれました。STEPのそういうところが私はとても好きです。そしてより一層、優勝してSTEPに賞金を持ち帰るぞぞ！という気持ちが湧いてきました。

そんなこんなで迎えた大会当日は今まで見たことのないような大雨でした。実は私を含む日本チームは前日の予選で結果が振るわず本戦出場を逃してしまいました。(笑)優勝賞金を持ち帰るどころか本戦に出ることすらできず、もはや何をしにソウルまで行ったのかという感じですが、テントで雨宿りをしながら他国の選手たちを応援していると、同じく予選敗退したタイやベトナムの選手たちも自国で自立生活運動に関わっていることを知りました。不思議なもので、自立生活運動に関わっている当事者たちに会うと国籍が違ってみんな仲間のような親近感が生まれます。そこから一気に仲良くなった私たちは、テントの中のテーブルやイスをどけて、即席のゴルフ大会が始まりました。自国も他国も関係なく、みんなが一球打つたびに大歓声を上げて大いに盛り上がりました。一緒に行動を共にした日本代表チームのみんなとも仲良くなれてとても充実した時間を過ごせました。

最後に、今回の旅では電動車いすの充電器が故障したりバスでの移動中に事故に遭い顔を強打してしまったりとトラブル続きでしたが、同行してくれた介助者のKさんは介助未経験にも関わらずよく頑張ってくれました。韓国語が堪能な

Kさんはどこへ行っても通訳者として頼られ、時に大会の運営スタッフ、空港職員、お店の店員さん等が私ではなく介助者のKさんだけに話しかける場面が多々ありました。

その度に私は口うるさく「当事者の私を見て話すように伝えてください！」と言い続けました。確かに、言葉が通じる人に話しかけたくなる気持ちはよく理解できます。しかし主体は私なのです。だから私を無視しないでほしい。Kさんは私と



相手との板挟みで大変だったと思いますが、その意味を理解してくれていたように思います。海外へ行くと、毎日が刺激の連続で介助者との時間も濃厚になります。一緒にたくさんの苦勞をしてクタクタになりながらも、帰った後に少しでも「面白かったな」と思えてくれていたら嬉しいです。

今回貴重な機会をくださったD P Iの皆様、現地で支えてくれた介助者Kさんと日本代表チームのみんな、快く送り出してくれたSTEPのみんな、留守中に猫さんの面倒を見てくれた方々、みんなのおかげでまた一つ人生経験が増えました。どうもありがとうございました。

## ② 権利擁護事業



### 1) STEPえどがわの情報保障～聴覚障害当事者スタッフとして～

き なかそねすずね  
(記:中曽根鈴音)

この枠は毎年恒例となっていますが、今年も振り返りたいと思います。STEPえどがわでの情報保障の取り組みは年々進化を感じています。

独自のテイカー登録システム(主に学生テイカーさんを雇用して文字通訳に入ってもらう仕組み)においては、現在約12名の方に登録いただいております。月に5-6件ほどの依頼で、それ以外にも区内の勉強会、区外の市民フォーラムやJILセミナーの文字通訳などの外部からの依頼もできる範囲で受けています。

昨年度は大学卒業するテイカーさんが多く、テイカーも卒業となった方がいて、一時期、深刻な人手不足に陥りました。

思い悩んでいたところ、STEPの当事者スタッフの工藤さんがテイクのやり方を学んでくれて、「一本指打法」という独自のやり方で大活躍してくれています…(笑)理事の市川さんも自身の喋るスピードに負けないくらいの速さのテイクで助けてくれているおかげで、ひどく困ることなく

話し合いの場に参加できています。

テイカーさんや、話し手のちょっとしたサポートによって得られる情報の中から、自分がベストだというものを選ぶ過程は自分らしく生きていくために大事なことです。だからこそ「いつでもどこでも情報が得られる環境」を追い求めなければなりません。しかし、まだまだ社会の中では「情報保障」という言葉すら浸透していないため、一歩外に出ると、情報保障の依頼を断られたり、対応してもらえなかったりすることが多々あります。そのギャップに心が折れそうになりますし、わたし自身、支援を求めることをしてこなかったのも、遠慮してしまうことがいまだにあります。そんな時にはSTEPえどがわの仲間たちが、気付いて気にかけてくれるので救われます…。

次の世代の仲間たちに少しでも道が開けるように、私はできることを一生懸命やっています。

### 2) 鈴音キャラバン(情報保障を全国のCILに!)

ほうこく き なかそねすずね  
報告1 (記:中曽根鈴音)

このキャラバンは全国のCILで聴覚障害

当事者が少ないことから、聴覚当事者のいないセ

ンターでも情報保障のことを知って欲しい！という  
う思いと、今後、聴覚障害の人が訪ねてきた時  
に対応できる環境を、また、訪ねてきやすい  
環境を作ってほしい！という願いを込めて、鈴音  
が情報保障のことを伝えながらあちこちまわる  
という計画のものです。

STEPの情報保障は徹底されていることもあり、STEPのスタッフも情報保障に対する意識は  
しっかりできているので、普段から一緒に活動し  
ているスタッフも1-2名同行してもらい、その立場  
からの話もしてもらいました。

第1弾は関西方面。大阪の夢宙センターと、  
東大阪のぱあとなあにお邪魔しました。聴覚  
障害者のことや、情報保障についてお話し  
てもらったあと、訪問先のセンターでの取り組み  
のお話も聞かせていただきました。どのセンター  
でも、障害種別を超えた取り組みは実践されて  
いて、そこでは障害種別は違うけど、困っている  
こと、必要なサポートを聞きあうことで、自分の  
考え方が広がったり、いろんな角度からみれるよ  
うになったり、自分の気持ちを振り返ったりするこ  
とでエンパワメントされる部分が大きいなと思  
いました。

次はどこのセンターにお邪魔しようかな。とても  
楽しみです。

今回、同行してくれたコーディネーターは布川  
さんと鬼澤さん。お二人からもコメントをもらって  
いるので紹介します。

## 報告2 (記: 布川悠)

鈴音がSTEPに来てから、私たちはみ  
なでたくさん話し合いながら、少しずつ「情報  
保障」というものを確立していきました。そんな歩  
みが、『鈴音キャラバン』という形になって、こうし  
て他センターの方にも伝えていけるような活動に  
なっていたことに改めて気が付いた2日間にな  
りました。



自立生活センター同士のつながりを強めて、  
アイデアをもらい合えるという機会はとてもいい  
なあと感じました。同じ理念を持って活動してい  
るセンター同士ですが、力を入れているところや  
得意なところがそれぞれあって、その知識を共有  
できることでとても視野が広がる気がします。  
実際に私たちも、夢宙センターさんやぱあとな  
あさんの活動も見聞きすることができ、顔を合わ  
せて交流することでとても仲良くなれた気がして  
います♡鈴音キャラバンが第2弾、第3弾と続いて、  
STEPの皆がいろいろなセンターとつながれるき  
っかけになれるというのも、今後また新たな可能

せい かん たの  
性を感じてとても楽しみです！！

よだん こんかいわたし しょうがく ねんせい むすこ とくべつ  
余談…今回私の小学3年生の息子も、特別



がっこう やす おおさかい どうこう  
に学校をお休みして、大阪行きに同行させてもら  
いました。皆さんとても優しくしてくれて、「将来  
みな やさ しょうらい  
は大阪の新世界に住みたい」としばらく言ってい  
おおさか しんせかい す い  
た息子でした。お世話になった皆様、ありがとうご  
むすこ せわ みなさま

ざいました(^)

### ほうこく 報告3 (記: 鬼澤慎太郎)

すずね だい だん おおさか むちゅう  
鈴音キャラバン第1弾は大阪の『夢 宙 センター』  
と『ぱあとなあ』へ訪問させていただきました。  
おな しーあいえる ふだん かなか かか すく  
同じC I Lでも普段なかなか関わることが少な  
ほか しーあいえる かつどう し すてっぷ  
い他のC I Lの活動を知れたことや、STEPえど  
がわとは違う大規模な事業所運営、かつ関西のノ  
ちが だい き ほ じぎょうしょうんえい かんさい  
りを体験できたことはとても貴重な経験となり  
たいけん きちよう けいけん  
ました。

に なや かつどう  
似たような悩みや葛藤があるなかでもそれぞれ  
がいろ かんが えをもって しんし と く すがた  
色んな考えをもって真摯に取り組んでる姿を  
み こんご すてっぷ  
見て今後のSTEPえどがわにも活かせることが沢  
さん おも すてき はなし  
山あるなと思えるような素敵なお話をたくさん  
き  
聞かせていただきました。

こんかい ほうもん もくてき じょうほうほしやう  
今回の訪問の目的でもある情報保障につい  
すこ  
て少しだけ。

じょうほうほしやう とく かく かん  
情報保障の取り組みって聞くと固く感じたり  
むずか さいしょ おも ことども  
難しそうだかと最初は思いました。でも、子供に  
わ ことば ていねい せつめい よう がいく  
わかりやすい言葉で丁寧に説明する様に、外国  
えいが あ まえ じまく  
の映画に当たり前に字幕がついてたり。つまりは  
つた きも しゅわ  
伝えたいって気持ちじゃないかと。それが手話で  
も じつうやく  
も文字通訳でも。

いつでも、どこでも、だれにでも、つたえたいことを  
つた ことば あ まえ すずね  
伝えられることが当たり前になるように鈴音キャ  
らバンを通じて じょうほうほしやう すこ  
情報保障というものが少しでも  
ひろ おも  
広まればと思います。

## 2) 重度訪問介護利用者の権利擁護

### 1. 江戸川区重度障害者大学等修学支援事業・就労支援特別事業(記: 蛭川涼子)

「通年長期の利用不可」が壁となり、通学や通勤に使えなかった重度訪問介護でしたが、2018年からは「修学支援事業」、2020年からは「就労支援特別事業」が始まり、通学や通勤、学内や事業所内でのヘルパーを利用できるようになりました。ただ、地域生活支援事業なので、市区町村が事業を創設してくれないと利用することができません。

STEPえどがわは、江戸川区を拠点とする自立生活センターとして、区内の特別支援学校から大学受験を目指すことを決めたYさんをきっかけにして、2021年秋に江戸川区に2つの事業の創設をお願いしました。江戸川区はすんなり受け入れてくれて、2023年1月に修学支援事業が、4月に就労支援事業が開始になりました！重度障害者にとって悲願ともいえる、学校や仕事でのヘルパー利用！！しかしですよ、しかし！…事業開始から約1年が経ち、申請から利用のサポートを通して、以下の二つの共通する課題を感じています。

課題その1: サービスを受けてくれる事業所が少ない！(泣)

修学支援事業および就労支援事業の報酬単価は、重度訪問介護に準じているので、決して十分ではありません。重訪利用者のための制度

なので、重訪をメインにしている事業所が協力してくれるかなと思いきや、重訪メインの事業所は、長時間もしくは特定事業所加算で収益を出しているの、加算のつかない両事業を引き受けてくれる事業所がほぼ皆無という壁にぶち当たり中…。

例えば、就労支援事業を使って職場のトイレ介助を入れたい場合、常時介助が必要でない人は、1日に数回、1時間程度の派遣のみで済んでしまいます。身体介護の単価ならなんとかなっても、重訪単価で1時間のために訪問するとなると、ヘルパーの移動距離が限られます。利用場所(会社)に近い事業所に依頼をかけようとしても、収益の少ない事業に協力してくれる事業所が少ないのが現状で、もっともっと、この事業の意義を理解してもらうために動かないとならないのは大きな課題です。

課題その2: 申請(書類の準備)の手間が2倍、3倍重訪と支援事業、二つのサービスを使うわけなので、申請も2倍かかるのは当然かもしれませんが、なかなかの手間です。何が手間かというと、学校や職場にこの事業の意義と意味を伝えて、計画書作成に協力してもらわなければならないからです。相談支援専門員が入っていれば、彼らにも理解してもらわれないとなりません。

じえいぎょう ひと じぶん さくせい ちようじかん  
自営業の人は自分で作成します。すでに長時間  
の支給決定を受けている人は「就労支援事業を  
申請したら、重訪の時間数が少なくなるのではな  
いか」と心配する声もありましたが、24時間近い

じかんすう かぎ しんせい かし  
時間数でない限りは、申請してみる価値はありそ  
うな気がします。

## 《Yさんと江戸川区重度障害者大学等修学支援事業》

き ひるかわりようこ  
(記: 蛭川涼子)

わい だいがくごうかく れんらく き ねん がつ ねんまつ く さい たんじょうび む  
Yさんから大学合格の連絡が来たのは2022年11月。そこから、年末に来る18歳の誕生日に向け  
て重度訪問介護への切替え申請、年が明けて、お母さん以外のヘルパーは外部でほとんど使ったことが  
なかったYさんへのILP(自立生活プログラム)…と慌ただしく準備が進んでいきました。まだ  
江戸川区も事業について詳細未定で、大学側も含め関係者全員が手探り状態の中、情報を集め、大  
学側や私たちにわかりやすく説明してくれたのは、われらが「なっちゃん」曾田夏記。2023年夏にSTE  
Pを去るまで大きなサポートをしてくれました。学校側に制度を理解してもらうために私たちも制度を理  
解する必要があり、なっちゃんの助けなしには乗り越えられなかったような気がします。

「修学支援事業」は、学校が学内における障害学生の介助体制整備を始めることが前提なので、  
入学予定の大学や専門学校に計画書を作成してもらう必要があります。Yさんは、学校見学と面談を  
重ねて、入学後の介助については母が付きそうのではなく、修学支援事業を使いたいという希望を大  
学側へ伝えていました。一般入試の合格発表から入学式までは通常2か月もない期間では、学校に  
計画書を作成してもらうのはなかなか厳しいので、事前のアプローチは大切なのだろうと思います。

3月、無事書類を準備し役所に申請し、支援事業が使えることは決まっても、時間数が出るのは、  
大学のカリキュラムが出てからなので、支給決定は4月を過ぎてから。事業所としては見込みでの介助ス  
タートでした。

計画書の準備と平行して行っていたヘルパー探しも難航しました。残念ながらSTEPえどがわだけで  
はヘルパーを揃えることはできず、他事業所の力も必要だったので、Yさんの相談支援専門員から  
事業所に声をかけてもらいました。重度訪問介護をメインにしている事業所に声を掛けましたが、加算  
対象外の本事業は受けられないというお返事。愕然としました。結局、人手が足りず、母の協力あり  
きでのスタートとなってしまいました。学内で介助募集のポスターを張り、学内での学生ボラや自薦探し  
は、これからです。

ちなみに、サークル活動は、修学支援事業の対象外だといので、それなら重訪の利用が可能か  
確認すると「サークル活動は公費では認められない。また、大学生活の一部ともいえない」と断言され、  
大学生活というのはとても主観的な概念なのだな(怒)と思わされる一幕もありました。ゼミ活動やサ  
ークル、校外活動など講義以外の時間も大学生活にとって欠かせない時間…という考えはごく一部  
の人の考えなのね、と。修学に対する自治体によって解釈はまちまちです。さらには、講義と講義の  
間の時間は認めない、となっていて、学びたい科目ではなく、スケジュールを考えて科目を選択しなけ  
ればならないなど、常時介助が必要な重度障害者にとっての学びの機会、はまだまだ障害のない人と  
等しいとは言えないなあ…と思う次第です。

## 2. 重度訪問介護利用者にとっての介護保険移行(記: 蛭川涼子)

日本に住んでいると、40歳から介護保険料を  
支払い、65歳になると介護保険サービスを使える  
ようになります。特定疾病の人は40歳から使え  
ます。福祉用具のレンタルなどはどんどん進化して  
いますが、私たち障害者にとっては、介護保険  
サービスの利用はそれまでの生活スタイルや社会  
参加に影響を及ぼしてしまう可能性があるので、  
メリットばかりではありません。特に重度訪問介護  
を利用している人たちにとっては、慎重に進んで  
いかないと、取り返しのつかないことになりかねな  
いこともあります。

でも日本の法律は「福祉制度より保険制度が優  
先」というルールがあるので、障害福祉サービス  
を使っている人が65歳を迎えるとき、特定疾病  
の人は40歳を迎えるとき、役所から「介護保険へ  
の移行手続きのお願い」が届きます。そこには  
「(あなたは)介護保険へ移行になるので手続きが  
必要です」と書いてあると思います。なので、「もう

障害福祉サービスを使えないの…？」と不安にな  
るかもしれませんが、そんなことはありません！す  
ぐに相談してください。

介護保険が出来たのは2000年です。そのころ  
は、「介護保険優先」という言葉が独り歩きして、  
65歳になった障害者は、行政によって障害  
福祉サービスを打ち切られたり、泣く泣く介護保険  
に移行させられたりして、苦渋をなめさせられた  
人が多く、65歳になったら人生終わり。そんなイ  
メージがついてしまいました。

当然、障害者団体は、障害者を一律に介護  
保険へ移行させるのはおかしいと訴え続け、その  
結果、国(厚生労働省)は、2007年に「優先は  
原則」という通知が出されました。とはいえ、国は  
できるだけ障害者にも介護保険を使ってほしい  
ので、介護保険に移行したくない理由を調べ、対  
策を講じています。たとえば、①「介護保険になっ  
たとたん自己負担が発生するのは困る」という訴

えに、「新高額障害福祉サービス等給付費制度」を創設したり、②「馴染みの(障害福祉の)ヘルパーが入れなくなるのは困る」という訴えには、「共生型サービス」というものを創設したりしました。でも、①は特定疾病の人など対象外もあつたり、知らないと申請できなかつたり、②も事業所の事務負担が大きいだけでなく、利用者にとつても、ヘルパーが変わらなくても結局は介護保険なので使いつらかつたりするなど、移行による生活の変化という不安を解消するには、もう少し時間がかかるとおもいます。それには事業所や社会がもっと障害者の生活を理解していく必要もあるように感じます。

そんな状況ですので、2023年秋、65歳を迎えるSさんは、介護保険の利用はしない、という選択をしました。役所から介護保険手続きの案内が来ても申請せず、「介護保険を申請しない理由書」を提出しました。役所と話し合いをし、役所としては「行政としては介護保険移行をお願いする姿勢を続けるが、介護保険に移行しないからといって障害福祉サービスを停めることもしな

い」という回答で、65歳以降も重度訪問介護のみで生活を続けています。Sさんが、介護保険を申請しなかつた理由はいくつもありましたが、最も大きな理由は、介護保険併用を選択すると、生活スタイルが変わってしまうことが予測されるからでした。

障害は一人ひとり必要なこと(ニーズ)も違いますし、介護保険に移行した方がよい人もいます。おもいますが、重度訪問介護利用者については、「それまでの生活スタイルを変えずに介護保険サービスへ移行する」のは無理があることを、理解してほしいとおもいます。

この課題は、障害福祉サービス事業者と介護保険サービス事業者、相談支援専門員と介護支援専門員(ケアマネージャー)が、障害福祉サービスを使って生活している障害者にとつて、介護保険を使うことに対して何が壁(不安)となつていて、どうしたら壁を壊せるのかを共に考えない限り、重訪の利用者が、介護保険へ移行する、という選択はないのではないかなあとおもうのであります…来年に続く！

### ③ 普及啓発事業



## 1) STEPの防災に関する取り組み(記:市川裕美)

2019年の台風19号の経験から、STEPでは大規模水害時に向けての対策を真剣に考えるようになりました。2022年は、縁あって清里の廃校の体育館ヘリフトバスを使って避難するという訓練を実施しました。<<https://www.nhk.or.jp/bousai/articles21245>>



実際の避難を考えると、限られた時間の中で場所が確保され、バスが用意でき、皆揃って避難するという条件が整う事はとても難しく現実的ではないと思います、23年はもっと実際の避難に近い形での避難訓練を実施しようと思い、避難訓練第2弾を企画しました。

江戸川区と災害協定を締結していて、お隣の市川市の高台にある「千葉商科大学」で、近隣の国府台の防災活動に取り組んでいらっしゃる先生と知り合うきっかけがあり、この企画を相談したところご快諾いただき実現することができました。

8月29～30日、夏休み期間中の大学の地域活動推進室というワンフロアのスペースをお借りして実施しました。今回は「場所が確保できただけなので、必要な物は各自で用意して、各自で避難場所まで逃げてきてください…」という想定。

コンクリートの床にそのまま寝るわけにはいかないので各自で寝具も用意してもらう事に。その為事前の説明会を事務所で開催し、キャンプ用のエアマットや簡易ベッドなども実際体験できるように展示しました。昨年よりハードルが上がって参加する人が減ってしまうかと心配しましたが、近い事もあって日帰り参加の方、途中交代の介助者の方、他事業所の方、そして千葉商科大学の教員の方、学生ボランティアさんなど総勢72名の参加がありました。

29日の午後から会場(避難所)を開け、マット(寝具)の展示や災害に関する映像の上映などを行ない、夕方から参加者でワークショップを開催しました。途中、日本経済新聞が取材に来たり、23年4月に新設された江戸川区の「要配慮者支援課」の方も見学にいらしたりもしました。

ワークショップが終わると、半分ほどの方が帰宅





すてっぷ みな かんしゃ  
たててくださったSTEPえどがわの皆さんに感謝です。

やつがたけ りょこう たの いそ ひなん ぼしょ いどうしゅだん かいじょしゃどうこう かぞくじじょう  
八ヶ岳は旅行なら楽しいですが、急いで避難する場所としては、移動手段、介助者同行、そのご家族事情  
とう かんが たか かん とお ひなん ちゅうちよ よういん え  
等を考えるとなかなかハードルが高いと感じました。『遠い』というのは避難を躊躇する要因にもなり得  
おも  
ると思います。

ち ばしょうかだいがく ひなんくんれん ちか げんち かいじょしゃ こうたい かな さかい おお  
千葉商科大学での避難訓練は、近かったことで現地での介助者の交代が叶い、チーム酒井では多くの  
かいじょしゃ さんか でき じっさい さかい じかんかいじょ ひつよう かた どうこう ばあい  
介助者が参加することが出来ました。実際に酒井さんのように24時間介助が必要な方に同行する場合、  
たと まわ かたがた てつだ ひとばんじゅうかいじょ ねが むずか かいじょしゃ  
例え周りの方々が手伝ってくれたとしても、一晩中介助をお願いするのは難しいでしょうから、介助者  
こうたい つな かいじょしゃ  
が交代しながら繋いでいかないと介助者のほうがダウンしてしまいます。

いっばん かたち ひなんじよ くるまいす うご かいじょ けいけん あ かたがた まわ い あんしんかん  
一般の方達の避難所より車椅子でも動きやすいことや、介助の経験が有る方々が周りに居る安心感  
があり、確かにそこには共助 力がありましたが、チーム内でも交代しながらでない避難所生活の持続が  
むずか じじょよりよく じじょよりよく い じゅうよう おも  
難しいであろう自助力(そういったことを自助力と言う？のかどうか分かりませんが)も重要だと思いま  
した。

ひなんくんれん かだい たくさんみ こきゅうき つ かた にもつじじょう じじょう  
避難訓練をしたことによって課題が沢山見えてきました。呼吸器を付けている方の荷物事情、トイレ事情  
ちようき わた ばあい たてもの すいどう せんめんだい かず おお せいけつほじ むずか  
とか、長期に渡る場合、建物の水道や洗面台の数や大きさによっては清潔保持の難しさがありそうだ  
おも  
と思えました。

こんかい せわ だいがく じっさい ひなんぼしょ  
それと今回お世話になった大学が実際の避難場所にはなっていないこと。  
ひなんくんれん じじょ きょうじよ かだい み じっさい ひなんぼしょ き  
避難訓練をすることで自助、共助の課題は見えてきたものの、やはり実際の避難場所が決まっていな  
たてもの たい かだい み こうじよ もんだい のこ  
建物に対する課題が見えてきません。公助の問題が残ったままです。

がわ ちようさ こうしやう げんかい おも じちたい しせつかんけい かた たおお  
こちら側からの調査や交渉だけでは限界もあると思います。自治体や施設関係の方、その他多くの  
かたがた くんれん ようす どうか み て さ の かた あらわ わたし かいじょしゃ  
方々に訓練の様子や動画を観てもらい、手を差し伸べてくれる方が現れてくれるよう、私たち介助者・

とうじしゃ けいけん  
当事者もせっかく経験させていただ  
くんれん ひとこと おも じぶん  
いた訓練を他人事と思わず自分たち  
でき どうが きょうゆう  
が出来ること、動画の共有など  
こうほうてき かつどう  
広報的な活動をしていかないといけ  
おも  
ないなと思えました。



## ちいき 2) 地域へのアプローチ

### 1. ナクセイバー活動報告(小学校出前授業)(記:津田浩史)

小さい子どもにも興味を持ってもらうために、ダンスナクセイバーを前面に押し出した出前授業を始めてから2年目の2023年度。

2022年度は過去の申し込みから4年生を対象とした案内文を出していましたが、今回は対象学年を絞らず、全学年に向けたものを案内で出したところ、2022年度は4年生で4校でしたが、2023年度は4年生2校、全校生徒対象1校、1年生対象1校と幅広い学年からの申し込みがありました。

新しい対象学年からの申し込みにより、出前授業の幅が広がりのうれしい反面、1年生という低学年から、1年生～6年生の幅広い年齢を対象とした授業を行うことになり、4年生対象だけでは気が付かなかったこともあり、

低学年を対象にした授業では、「こども向け」としていた内容でも、6歳前後の児童にはやはり共感のないせりふ回しがあるなど、シナリオの見直しのきっかけに。

全校生徒対象とした授業では、体育館の広さや古い校舎ということもあり、全校生徒が集まると、後ろの子どもが見えづらくなってしまったため、舞台上で演技をしてほしいとの話が出ました。90センチほどの舞台上に上がるための補助的道具がない学校で、見えやすいが全員が上がれない

舞台。見えにくい全員が参加できる舞台上。上がれる人と上がれない人で分ける。など、どちらでやるのかスタッフの中でも意見が分かれました。啓発活動なのだから、多くの人に見てもらいたい。環境が整っていないことを知るきっかけになる。上がれる人上がれない人が出るのはよくない。上がりたい人もいれば、上がりたくない人もいるのでは。など様々な声が出ました。

結果として当日はスロープをSTEPが用意をし、学校にあるものを組み合わせつつ先生と共に協力をし、なんとか舞台上に上がることができました。先生や生徒達には工夫をする姿を見せることで、



合理的配慮を考えるきっかけになったのでは。との声も出ましたが、当事者の中でも怖かったとの声もあり、次回以降は安全な方法を共にもっと考えていくこととしました。

改善点も多くありましたが、2023年度もダン

つか で まえじゅぎょう だいこうひょう  
サナクセイバーを使った出前授業は大好評で、



ねんせい たの えが お ぜんこうせいと  
1年生の楽しそうな笑顔はもちろん、全校生徒を  
まえ さい かんせい おお ぶたいじょう  
前にした際にはあまりに歓声が大きく、舞台上  
のヒーローたちに演出の音声が聞こえなくなっ  
ていたそうです。

かいらょう よち わ  
まだまだ改良の余地はありますが、分かりやす  
こころ のこ で まえじゅぎょう みらい  
く心に残る出前授業をして未来につなげていけ  
ればいいなと思います。

## がくせい 2. 学生へのアプローチ

### だいがくこうぎ き おかもとりな その1: 大学講義(記: 岡本莉奈)

こんねんど すてつぷ どうじしゃ ひつとう り  
今年度は、STEPの当事者スタッフを筆頭に利  
ようしゃ きょうりょく  
用者さんにもご協力いただきながら、5つの大  
がく かい こうぎ おこな  
学で7回の講義を行うことができました。

たいしょうがくせい にん にん はひろく い  
対象学生は、40人から100人と幅広く、医  
りょうふくし ぶんや いがい まな がくせい さんか  
療福祉の分野以外を学んでいる学生も参加して  
くれました。「自立生活センターとはどんなところ  
か?」、はたまた、「自立って何だろう?」、「地域で  
じぶんらしく生きるとは?」といった、おお たいせつ  
自分らしく生きるとは?といった、大きく大切な  
テーマや事例をもとに、当事者の経験を学生に向  
けて話したり、グループワークでディスカッション  
をしたりしました。

また、すてつぷ  
STEPでヘルパーやテイカーとしてアルバ  
イトをしている学生にも登壇してもらい、STEPで  
まな がくせい どうだん すてつぷ  
学んだことや印象に残っている経験、自身の  
しょうがい たい たら かた へんか はな  
「障害」に対する捉え方の変化について話しても  
らいました。

がくせい よ おも  
学生からは、「良かれと思ってやっていたことが、



どうじしゃ  
当事者にはよいことではなく、きちんと本人に意  
けん き たいせつ  
見を聞くことが大切だということに気づいた。」、  
また、しょうがいどうじしゃ  
「障害当事者とのかわりなかつたが、み  
なさんがどのようなサポートを受けながら、しゃかい  
で暮らしているのかを知ることができたし、もっと

まな おも かんそう き  
学びたいと思う。」という感想が聞かれました。  
だいがく れんけい おこな じりつせいかつ  
これからも、大学との連携を行い、自立生活

し きかい つく しょうがいしゃうん  
センターを知ってもらう機会を作って、障害者運  
どう やくわり は  
動としての役割を果たしていきたいです。



## その2:チャレンジ・ザ・ドリーム(記:中曽根鈴音)

まいとしせつきよくてき う い えどがわくない  
毎年積極的に受け入れている江戸川区内の  
ぜんちゅうがっこう ねんせい たいしょう じっし  
全中学校の2年生を対象として実施されてい  
るしょくばたいけん  
る職場体験「チャレンジ・ザ・ドリーム」で、2023  
ねんど がつ にち がつ にち こいわいちゅう  
年度は11月29日から12月5日に小岩一中の  
せいと 2めい がつ にち がつ にち  
生徒さんが2名、1月25日から1月31日に  
みずえさんちゅう せいと 4めい  
瑞江三中の生徒さんが4名来られました。

こんかい しょくばたいけん みなお  
今回から、職場体験のスケジュールの見直しを  
はじめて、なるべく当事者と関わりが持てるプロ  
グラムを組みました。利用者宅での介助の見学や  
じっさい じかんけんしゅう おこな  
実際20時間研修で行っているガイドヘルプの

たいけん えきまえ くぼ かつどう  
体験、駅前でのビラ配り、ポスティング活動、





じょうほうほしょう しゅわきょうしつ さんか  
情報保障についてや手話教室への参加もしてもらいました。

いつかかん ちゅうがくせい じりつせいかつ  
5日間で、なおかつ中学生に自立生活センターのことをどれだけ知ってもらえるか、難しいところではありますが、短い期間でもSTEPえどがわで当事者と一緒に過ごしたことが良い経験となってくれるようにまた、2024年度の受け入れに向けてプログラムを考えていきたいと思えます。受け入れに当たり協力して下さった方、ありがとうございました…！

### えどがわ えどがわくとかくべつしえんがつきゅうがっこうしんろ き ひるかわりょうこ 3. 江戸川さんしょうがいフォーラム・江戸川区特別支援学級学校進路フェア(記: 蛭川涼子)

#### えどがわ ●江戸川さんしょうがいフォーラム

ねん すてつぷ えどがわ  
2023年からSTEPえどがわは、江戸川さんしょうがいフォーラムの会員になり、活動に仲間入りさせてもらいました。STEPは制度政策委員会と、勉強会委員会で関わらせてもらいました。

#### せいどせいさいくいいんかい 《制度政策委員会》

なつ かいいん あつ えどがわく ようぼう  
夏に会員から集めた江戸川区への要望をまとめて、11月ごろ提出して、2024年3月28日に口頭で回答を聞く機会がありました。さんしょうがいフォーラムはいろいろな人が会員になっているので、要望内容も多岐にわたっているのですが、ぶんしょかいとう がもらえないため、ひっし と取るもちゃんと記憶に残らず(苦笑)

しきゅうけつてい どうめいか  
ひとつだけ、支給決定プロセスを透明化してほしいという要望に対して、しきゅうけつていかいぎないようなど自己情報開示に応じることで透明化としている

しきゅうけつてい きもん かん じこ  
そうなので、支給決定に疑問を感じたら、自己情報の開示請求をすることをお勧めします！！  
(昔みたいに黒塗りじゃないです)

#### べんきょうかいいいんかい 《勉強会委員会》



がつなか 3月7日「ピアスタッフに聞いてみよう～高次脳  
機能障害のヒミツ～」

「STEPが参加するなら、情報保障も整えるべし」

と、STEPの情報保障チーム総出で協力。はる  
え野で活動している高次脳機能障害のピアの方  
と出会えたのもうれしかった！

・5月17日、LGBTQイベント。タワーホール  
がレインボーに点灯された～！

### ●江戸川区特別支援学級学校進路フェア

2023年から社員となった若いスタッフは、  
自分の時間をつかって積極的に地域に関わろう  
といういろいろなところに顔を出しているようで…

(笑)その中で、NPO法人らいおんはーとさん  
が主催する「江戸川区特別支援学級学校進路フ  
ェア」の話を持ち込んでくれました。江戸川区  
には鹿本学園という特別支援学校がありますが、

最近のSTEPはあまり接点がなく、若い障害当  
事者とつながれたらいいねと参加することを決め  
ました。

行ってみると、区内のいろいろな障害福祉サー  
ビスの事業所がブースをもうけていて、挨拶や  
情報収集はできたものの、肝心の生徒さんた  
ちは、進学ブースから出てこず…苦笑。

STEP自体も準備不足が多々あって、消化不良  
な第1回目の参加でしたが、障害を持つ生徒さ  
んや親御さんたちに、自立生活っていう選択肢を  
伝えていく場になったらいいなあ？

## 4. もぐら祭りとおんブズマン活動(記:井家上裕 & 蛭川涼子)

2023年7月22日(土)もぐら祭りに出店致  
しました。「もぐら祭り」は「社会福祉法人つばき土  
の会障害者支援施設もぐらの家」が毎年開催す  
るお祭りです。コロナ禍でずっと開催が出来ず、  
今回やっと開催できるとの事でSTEPえどがわに  
もお声をかけていただきました。

STEPえどがわは販売ブースを出展しました。  
通常のバザー品の他に、自分で描いた絵や  
STEPえどがわの絵師に依頼をしてオリジナル

缶バッジが作れたり、的当てゲームで高得点だと  
割引になる企画など、みんなが楽しめる工夫をし  
て大盛況でした。久しぶりにもぐら祭りで皆さん  
と楽しむ事が出来て良かったです。

もぐらの家の方々とはSTEPえどがわ設立当  
初から関わりがあります。もぐらの家の利用者さ  
んが一人暮らしをする時に支援をさせてもらっ  
りしていました。

他にも、STEPえどがわの新人研修を受け入

れてもらったり、逆にもぐらの家の研修会に  
STEPえどがわから講師派遣をしたりしています。

これからも地域に根差して活動されているもぐ  
らの家さんと、ずっと繋がりが良い関係を作  
っていただけると思っております。

「(ほぼ)STEPの設立当初からSTEPにいる井  
家上さんなら、もぐらの家とのこれまでを色々知  
っていると思うから、原稿書いて！」そう願ひし  
たのに、あっさりした文章をどうもありがとう！

設立当初ということは、20年以上のお付き合  
い。数年前に50周年を迎えているもぐらの家  
さんは障害者の地域生活拠点の大先輩。そんな  
大先輩とのこれまでのエピソードが短すぎる  
！！…まあ、いいんですが。

2023年度より、STEPえどがわの土屋と蛭川  
がもぐらのオンブズマン活動に協力することに  
なりました。地域でのピアサポートの実践！もぐら  
の方々と仲良くなれるきっかけをただけて、と  
～ってもうれしいです！



### 3)当事者参画(当事者の声を届ける)

#### 1. 対外活動で取り組んだこと(制度政策関係)(記:今村 登)

2023年度は前年の10月に国連の障害者  
権利委員会から日本政府に出された総括所見に  
どう対応していくか？次の政府報告を行う  
2028年までにどのように取り組んでいくか？と  
いった、具体的取り組みをいろんな分野で検討が  
始まりつつあった年でした。総括所見とはいわゆる  
勧告と言われるものです。国連で決まった国際  
条約を結んだ国のことを締約国というのですが、  
日本政府は2014年に障害者権利条約の締約  
国になりました。締約国になると、4年ごとに国連

の障害者権利委員会に、条約の条文に対してど  
のような法律で対応しているかなどの政府報告  
提出しなければなりません。その後、民間団体か  
らパラレルレポートといって「政府はこう言って  
条約を守れているようなことを言っているが、  
実情は違う。まだこんな問題が起きている。」と  
いうような意見(指摘)を出すことができます。  
国連の権利委員会の方々は、政府と民間の両方の  
意見を聞き、調査も行なった上で「こう言った部分  
は評価できるが、こう言った懸念がまだあるので、

このように「是正しなさい」という勧告を出します。  
残念ながら、必ずこの勧告に従わなくてはならないという義務はないので拘束力としては弱いのですが、国際条約自体の法的位置付けは、憲法の次で、国内の法律や条例より上にくるものなので、いくら拘束力はないとはいえ、原則4年ごとに審査と勧告というサイクルが繰り返されるので、さすがに無視はできません。なので、その第1回目の勧告が2022年に出されたので、その熱が冷めてしまわないように、2023年はいくつかの大きな動きがありました。STEPえどがわはDPI日本会議と全国自立生活センター協議会(JIL)という二つの全国団体に所属しており、私はDPIとJILで、それぞれの役員(常任委員)にもなっていて、そのどちらかの全国団体として、国会議員や官僚の方々とは様々な機会を通じて意見交換をして、2022年の総括所見(勧告)に従った見直しを働きかけてきました。

総括所見(勧告)では2つのことが緊急の課題だと指摘されまして、一つは「脱施設」、もう一つは「インクルーシブ教育」です。そのほかにもたくさん項目があり、その総数は約90項目にもわたります。

<https://www.dpi-japan.org/blog/workinggroup/crpd/recommendations-for-japan/>



わたしがかかわった取り組みを分野ごとに分けて、実現できた主だったものをいくつかご報告します。

## 1. 令和6年度障害福祉サービス費等報酬改定

・重度訪問介護の基本報酬の値下げ阻止(微増)

・処遇改善加算の1本化

・地域生活支援拠点の機能強化

・主に地域移行の推進に重点を置く拠点コーディネーターの配置

・拠点コーディネーターの役割ガイドブック

研究会(厚労省研究会)

・介護保険対象者の国庫負担基準の引き上げ(区分6)

・重度訪問介護利用者の入院中の利用対象の拡大(区分4、5も可能に)

・障害者差別解消法改正に伴う対応指針

(ガイドライン)の見直し

・差別事例の追加

・旅館業法の改正によりカスタマーハラスメント

に該当する行為があった場合は宿泊拒否が出来ることになったが、障害者が合理的配慮を求め

ることはカスハラには該当しないことが明記され、

厚労省の衛生事業者向けガイドラインにも別冊

で追記された。

・障がい者に対する合理的配慮を求め

ることはカスハラには該当しないことが明記され、

厚労省の衛生事業者向けガイドラインにも別冊

で追記された。

・障がい者の居住にも対応した住宅の設計ガイドラインの策定

・「全国一斉行動! U D タクシー乗車運動」を4

年ぶりに10月に実施した。

・新基準を満たした新型車両の導入(山形

新幹線、特急「ひだか」、スパーシア X )

とうきょうとけんちくぶつ じょうれい かいせい  
・東京都建築物バリアフリー条 例の改正(ホテル  
よくしつでいりぐちば ふうろはば かくだい  
の浴室出入口幅と通路幅を拡大)

あいしー しょうがいしやわりびき とうじしやよう  
・IC カードの 障害者割引 ( 当事者用 と  
かいじょしやよう すいか ぱすも  
介助者用:Suica、PASMO)

じゃくさ こうくうき ゆーでー いけんこうかん  
・JAXAとの航空機のU Dトイレ意見交換

いどうとうえんかつかひょうかかいぎあんど べついけんこうかんかい  
・移動等円滑化評価会議 & テーマ別意見交換会

しょうがいしやとう ひなんゆうどうかか いけんこうかんかい  
・障害者等の避難誘導係る意見交換会

てつどう しょうがいしや りようかんきやうかいぜん む  
・鉄道における障害者の利用環 境改善に向け  
いけんこうかんかい  
た意見交換会

#### 4. インクルーシブ教育

ていびーあいにほんかいぎ とうきょうだいがくだいがくいんきやういくがく  
・「D P I 日本会議と東京大学大学院教育学

けんきゆうか しょうがいしや きやういくじぎやう かん  
研究科とのフルインクルーシブ 教育事業に関する

きやうていしよ ちやういん きやういくきかん  
「協定書」に調 印し、教育機関におけるフルイ  
ンクルージョンの実現に向けて連携して 協 力す

ることとなった。

#### 5. WINの活動

## 2. バリアフリーツーリズム「旅ってやっぱりいいよね」(記:田中麻実)

ねん がつ にち か にはくみつ か  
2023年11月22日~24日の2泊3日で「バリ  
アフリーツーリズムIN奄美大島」に、

ひなが ゆき こ えーえるえすしっかん むすめ さき  
日永由紀子さん(A L S 疾患)と 娘の早紀さん、  
コーディネーターの布川と田中で参加してきました。

そもそもバリアフリーツーリズムとは何か、とい  
うことですが、これは文化庁が進めている事業です。

しょうがい だれ じゆう ぶんか  
「障 害があってもなくても、誰でも自由に文化  
げいじゆつ め ぎ  
芸術にアクセスできることを目指したツアー」で、  
おおさかばんばく さき みす げんじてん  
大阪万博やその先を見据え、現時点でどんな  
しょうがい じっさい しょうがい も とうじしや  
障 害があるのか、実際に障 害を持つ当事者がア

にほん じる にくる いにる  
・日本(JIL)、アメリカ(NCIL)、ヨーロッパ(ENIL)、  
ちゆうべい とうなん  
中 米(コスタリカ)、東南アジア(パキスタン)によ  
るオンライン定例会議

こくれんけんりいいんかい だつしせつ と  
・国連権利委員会のサイドイベントで脱施設の取り  
く はつげん  
組みについて発言

#### 6. 講師依頼

ちいき く  
・地域で暮らそうネットワークフォーラム(チイクラ  
フォーラム)

・アメニティーフォーラム

しちやうそん  
・市町村アカデミー

じるぜんこく じやうせいほうこく  
・JIL全国セミナー(情 勢報告)

ていびーあいぜんこくしゅうかい  
・D P I 全国集会

ていびーあいせいさくとうろんしゅうかい  
・D P I 政策討論集会

もんだい ちゆうしゆつ  
クセスしてみることで問題を 抽 出していくため  
のモニターツアーです。



なんといっても今回の大目玉は、呼吸器をつけた日永さんが飛行機に乗って移動するという事です。話すとともに長くなりますが、日永さんは呼吸器疾患を患ってから初めての飛行機です。事前準備から搭乗の方法、手続き全てが初体験となり、準備段階では本当に飛行機に乗れるのか?!といった不安など、とにかく準備期間にとっても労力があつたように思います。

そして自分たちなりに準備万端、いざ奄美大島へ! 飛行機への搭乗は、航空会社、ツアー会社の担当者さんなどたくさんの方に協力していただき、初めて日永さんと飛行機に乗るヘルパー(コーディネーター)も、「こうしよう」「あーしてみる?」などと日永さんと相談しながら無事に搭乗することができました。

飛行機内では大きな問題もなく無事にやり過ごしたと思いきや、なんと吸引機のビンにヒビが入っており、痰をうまく吸引することができず、日永さんも苦しい状況に!!

飛行機内の気圧に耐え切れなかったのか原因は迷宮入り…

しかしそこは、事前に用意しておいた「足踏み吸引機(手動タイプ)」が役に立ち、そして何より現地の訪問看護ステーションから電動吸引機をお借りすることができ、トラブル回避できました。そんなトラブルにも日永さんはなんのその。終始笑顔!! 強い心臓を持っているなど改めて思いました(笑)

着いてしまえば、そこはもう奄美大島。きれいな

海、マングローブ、黒うさぎが出る山々、自然が豊かで、自然が豊か  
中で育った日永さんは、そんな景色をキラキラした目で眺めているのが印象的でした。

また、ツアーの中でバリアフリー演劇鑑賞がありました。



そこで、奄美大島在住のALS当事者の方と出会いました。その方はまだ自分の障害を受け入れきれていない様子で、涙ながらに「つらいですよね…」と日永さんに話しかけてくれました。その姿がとても印象的で、こうして日永さんが飛行機に乗って遠出したり、外出を楽しんでいる姿を見てもらうことの意味、同じ疾患の方と直接会うことで勇気づけたり、勇気をもらったり、来てよかったと感じられる瞬間がありました。

こんかい もくてき だれ げいじゆつ ぶんか  
今回の目的が、「誰もが芸術や文化にアクセスで  
きること」。やっぱり旅は、とって心 のリフレッ  
シュになり、旅ならではの出会いがあり、皆で同  
じ空間を楽しむものであり、また行きたいと思え

るものだと思います。どんな人でも旅を楽しめる、  
そんな場所がたくさん増えるといいなと思いまし  
た！

### 3. 東京都相談支援従事者研修検討会と江戸川区自立支援協議会(記: 蛭川涼子)

#### 《東京都相談支援従事者研修検討会》

「障害者の相談支援の在り方」に対する当事者  
参画も 4年目(2023年度)。例年通り、ついてい  
くだけで必死の日々が続いていましたが、相談  
支援専門員と介護支援専門員(ケアマネジャー)  
との連携を考 えるための専門コース別研修に  
携 われたのは良いことでした。ちょうど介護保険  
に移行することに抵抗がある 重度訪問介護  
利用者の相談を受けていたので、そうした当事者  
の気持ちを伝える講義の枠をもらいました。どう  
して障害者が介護保険を使うと生活が変わって  
しまうんだろう、という謎解きを 1年かけてやって、  
わかったこと、感じたこと、課題を当事者として伝  
えさせてもらった感じです。その流れでようやく  
「共生型サービス」の意味も理解しました(苦笑)。  
研修を一緒に作った相談支援専門員の方々が、  
本人主体を大事にしながら 65歳を迎える障 害  
者のサービス利用をどうしたらよいかという実践  
に触れることができ、介護保険を早めに利用す  
ることのメリットなど、学びもありました。ただ、ま  
だまだ障害者が介護保険を使うときの課題は消

えていないので、介護保険移行手続きの話 が自  
分の身に降りかかったら、わかる人に相談をして、  
慎重に選択するというをししてくださいね(21  
ページ参照)。あともう少し、蛭川の検討委員  
経験は続きそうです。

#### 《江戸川区地域自立支援協議会》

今村理事長が事務局 長だった 12年前、5年  
努めた委員をクビ(笑)になって以来、傍聴しか  
できずにいた自立支援協議会に、なんとSTEPに  
委員推薦の話 が舞い込み、念願の地元江戸川区  
で当事者参画ができることになりました！  
協議会も 検討会同様、毎回心臓バクバク  
緊張の中で出席していましたが、2023年度か  
らの協議会は、会長(座長)が、医師から学術  
経験者の先生になり、当事者委員も3人から6人  
に増えるなど、雰囲気もがらりと変わっていました。  
1年を通して「江戸川区障 害者計画・第7期江  
戸川区障 害福祉計画・第3期障 害婦福祉計画の  
策定」に取り組みましたが、これまでにはなかった  
「テーマ別懇談会」というものが開催され、これが

ぶかいに？という期待が、相談支援専門員の間に  
は広がりました。相談支援専門員にとって部会は  
「地域をよくするためには必要なもの」という認識  
ですが、まだ江戸川区には存在していないからで  
す。

じりつしえんきょうぎかい そうごうしえんほう しょうがい  
自立支援協議会は、総合支援法、つまり障害  
福祉サービスについての法律の中に、定められて  
いるもので、障害者の地域生活における課題に  
ついて話し合う場とされています。本会以外に部  
会を作って地域課題に取り組んで、必要であれば  
自治体の政策として新規(独自)サービスの創設に  
繋がれるくらいの機能を持つものでもあります  
が、江戸川区の場合、自立支援協議会は長いこ  
と委員の意見は言いつぱなしで放置される…  
傍聴しているとそんな印象がありました。

せいさく ぎょうせい き あ まえ  
政策は行政が決めるのは当たり前なのですが、  
かだい あら だ ぎょうせい かんが いっぼうてき  
課題の洗い出しは行政だけで考えると一方的  
な視点になる可能性があるので、役所と民間が一  
緒に考える(官民協働)ことに越したことはあり  
ません。でも江戸川区はなかなかそうした流れに  
ならず、部会は必要なし、という方針が続いてい

ました。そんな中で、課題別に現場の声を聴く懇  
談会を開かれるということになり、これは部会  
設置につながるのかしら？と期待されたわけでした。

けいかくさくてい こんだんかい ひら  
計画策定のための懇談会がいくつも開かれた  
ので、出勤回数も多かった協議会でしたが、  
けっか ぶかいせっち ねんどのない  
結果としては、部会設置が年度内にはっきりするこ  
とはなく終わってしまいました。ですが、懇談会を  
とお ぎょうせい きょうぎ ば すく  
通して「行政との協議の場が少ない」ということ  
が明らかになり、何らかの形で協議の場を担保  
する形にはなりそうでした。新しい会長がこじ  
あけてくれた協議の場は今後どうなっていくのか  
注目です。

じゅうどしょうがいしゃ し ちいき く つづ  
重度障害者が死ぬまで地域で暮らし続ける  
ために必要なことって何でしょうね。自由に外出  
できないグループホームでは施設と同じですし、  
ぜんいん じかん つ く  
全員が24時間ヘルパーを付けて暮らせるわけ  
でもありません。当事者を交えながら、こうしたこと  
を話し合っていく場の一つとしても、部会が期待  
されています。

#### 4. 第7期江戸川区障害福祉計画パブコメ「市民の権利の行使とその喜び」(記:足立祥一)

みな せんきょとうひょういがい しみん ぎょうせい  
皆さんは選挙投票以外で市民として行政に  
せっきょくてき さんか わたし とく  
積極的に参加していますか？私 はこれまで特に  
なに  
何もしていませんでした。

じつ かんたん ちやくせつさんか ほう  
それが実は簡単に、しかも直接参加できる方  
ほう  
法があるんです。今回お話しする「パブコメ」です。

ねん がつ にち きん ゆきま そら した  
2024年3月23日(金)、雪混じりの空の下(でも  
ずーむ かんけい ひるかわ しゅさい  
Zoomなら関係ないですけどね)、蛭川さん主催  
で、「第3次江戸川区障害者計画(案)・第7期  
えどがわくしょうがいふくしけいかく あん だい き  
江戸川区障害福祉計画(案)・第3期江戸川区  
しょうがいふくしけいかく べんきょうかいけん ていしゅつかい  
障害児福祉計画」の勉強会兼パブコメ提出会

かいさい  
が開催されました。



しゅっぴつしゃきんえい からだ きた こと  
(執筆者近影。身体を鍛える事です。)

“パブコメ”とはパブリックコメントの略で、行政が政令や省令など、ルールを制定する際にまず案を公開し、それに対し一般から広く意見を募る仕組みです。

具体的には区のホームページに資料の草案が載せられ、それを読んで気になるところがある人は誰でも・何でも・どんな単純な意見でもホームページのフォームから投稿し、その意見が内容や文章に反映されたり、されなかったりします。

今回は前述の3つの計画案が対象です。私は諸事情で(怠けていて)案の資料を事前には読んでいませんでした。

数時間という短い時間の中だけで、資料の内容全てを参加メンバー全員が精読するのは無理なので、それぞれの得意分野、普段から気にしていることを中心に見ていきました。

わたし とく じょうほうほしょう せいしん へつたつしょうがいかんれん  
私は特に情報保障、精神・発達障害関連

きじゆつ み  
の記述を見ました。

するとざっと見ただけでも引っかかるところがあることあること。

あえて悪い言い方をすれば、学生のレポートのようにコピー & パーストでお茶を濁そうとしているところがあったり、これが抜けてる、こう書いたほうがいい、これは誤解の元…などなど。

ただ、一人一人は部分的に、自分だったらどう直すか考えて意見するだけなので簡単です。

さまつ ことばえら もんだい かんたん  
些末な言葉選びの問題だけではなく、根本的な考え方の問題が感じられるものもありました。

こんかい い しょうちようてき しょうがいしゃ い  
今回で言えば象徴的なのが「障害者の“生きがい作り”」という項目があり、違和感を感じたメンバーが多数いました。

だれ い た ひと ぎょうせい つく  
誰かの生きがいを他の人、ましてや行政が“作る”？生きがいというのは普通、見つけるか、最低でも自分で作るものであって他の人に手取り足取りガイドしてもらうというのは、差別的な考え方を感ぜませんか？

かん けつきよくふたり ていしゆつ  
ここに関しては結局2人がコメントを提出し、無事記述の変更につながりました。

わたし ぜんじゆつ ぜんていちしき  
私は前述のとおり前提知識ゼロでふらっと参加して、最終的に7~8件のコメントを提出でき、1件以外は記述に反映してもらうことが出来ました。(1件は優生思想が感じられる制度の組み立てについて、「国の計画に基づいて作成したので…」という回答でしたが、「ご意見は承ります」ということでした)

かいとう かくにん さい こども だれ  
回答を確認した際、子供みたいですが、誰かが

しっかり読んで答えてくれたという喜びがまず大きかったです。

また公的文書を自分の参加でより良いものにしたという初めての経験には少し興奮すらしました。

パブコメは自らの市民としての権利が行使できるし、その意義は小さくないという実感を得られる良い機会だと思います。

また行政側が機会を作ってくれているのに参加しないのはもったいないことでもあります。

そして行政がおかしな方向に進んでいかないように見張るのは市民の義務でもあるのではないのでしょうか。

何より、公的文書に自分の足跡を残せるのはやりがいがあって気持ちのいいことですよ！

思わず知り合いに自慢したくなりませんか？「これ俺の意見で変わったんだよね〜」

皆さんも興味があるジャンルで機会があれば一度、一通でも、試しに、気軽にパブコメ出してみると良いと思います。本当に簡単なので。

自分ではバカみたいかな、と思う意見もひょっとしたら大事かもしれませんよ。

そして、パブコメを出すことに慣れておけば、今後深刻な状況で意見を表明したり、権利を行使すべき来た時に、よりためらいなく動き出すことができるのではないかと思います。

## 4) イベント

### 1. STEPえどがわイベント再開！(記:井家上智子)

STEPえどがわのイベント担当をしている、井家上智子です。振り返ること、コロナ禍では、対面での食事を控えること、マスク着用等など…感染リスクが高いこともありイベントが出来ない日々でした。

どうしたら皆さんと楽しめる時間が作れるか、イベント担当としては心苦しい日々でした。そして、昨年のお花見から、控えめな開催ではありましたが念願の対面式イベントを再開することができました。

4年ぶりに皆さんと顔を合わせて、おしゃべりしながら飲んで食べて、「元気〜?」「久しぶり」と参加した皆さんの楽しそうな声に耳を傾け、開催できたこと、皆さんと再開できたことに心躍っておりました。

また、イベント再開し最初のクリスマス会では、「今までとは違うみんなで楽しめることはできないか?」とスタッフに相談して、ボランティアの学生さんも巻き込んで『ミステリー・クリスマス』を開催しました。

開始と同時にピンクナクセイバーが倒れ姿を消し、ダンサナクセイバー達とスタッフで参加者を巻き込み、ピンクナクセイバーの姿が消えた事件を謎解き。食事しているテーブルへ「この事件どう思いますか？」とスタッフ達も演者となり参加者へ問いかけ、中にはゾンビメイクをした人も現れ、謎多き会場！？でナクセイバームジの『ナク畑任セイバー』と共に推理をし、解決へと導きました(笑)。

この4年の間、スタッフが活動が続ける中でつながった多くの方が参加してくださり、イベント再開後は気が付けば毎回80人近くの方が参加して下さるようになりました。

やはり、STEPえどがわと関わって下さる方々が集まって交流できる場はイベントが一番ですね！

これからも色々と皆さんが楽しめるものを企画・開催してまいります。ぜひSTEPえどがわに

遊びに来てくださいねー！スタッフ一同お待ちしております。



## 2. 映画上映会「こころの通訳者たち」～舞台手話のお話～(記:中曽根鈴音)

10月9日にSTEPえどがわ主催で第5回バリアフリー上映会 & トークショーを行いました。上映映画は「こころの通訳者たち」。トークショーのゲストに、舞台手話通訳者の田中結夏さんをお招きしてお話いただきました！

田中結夏さんは俳優・手話通訳士・保育士として

も活動されていて、文化芸術の創造・鑑賞を専門とした手話通訳事業を行なっております。今年度も素敵な方と繋がり、お話しにきていただくことができました！

この映画は手話で演劇を通訳する、またそのドキュメンタリーに音声ガイドをつけるという試み

せま  
に迫ったものでした。

どうすれば伝わるか、その一点に議論を煮詰めていく様子が、言葉以外のコミュニケーションの大切さを思い返させてくれる映画となっていました。



じょうほう 伝達やコミュニケーションに大事なのは、方法としての言葉よりも、伝えたい、受け取りたい、という思いであって、結局それは人と人の心であることを改めて感じました。

わたしは3年程前に初めて舞台手話がついている演劇を見たときに、ただ脚本を手話通訳するのではなく、服装も物語に合わせるなど、舞台上で演者に溶け込みながら、演者の一人として存在していたことが印象に残っています。自分の中でもこれまでは舞台手話といっても舞台上で端の方でスーツをきて手話通訳をしているイメージが強かったのですが、全く違う方法に驚いたのと同時に、これなら演劇を見るのが楽しい！と感じました。演者の様子で内容がわかるようであればあえ

ぶたいしゅわつうやく えんじゃ かた ちゅうもく  
て舞台手話通訳をせずに演者の方に注目してもらうなどの工夫も、私たち聞こえない人が「演劇」を楽しめるように裏ではたくさんの人(当事者含めて)が、考えながら作り上げてくださっているんだなと感動しました。



トークショーでも、ご自身の生い立ちから、舞台手話と手話通訳の違いなどの基本的なことから、舞台手話に注力するために海外あちこちの舞台を観劇しまわっているという豊富な経験も含めて、お話いただきました。裏情報!?も飛び出したり、あっという間の時間でした。

今回は久しぶりに対面形式での開催でしたが、満席でした！みなさまと一緒に映画を鑑賞できたこと、感想を伝え合うことができ良かったなと思っています。また今年度も開催予定ですので、その際はぜひお集まりください。

### 3. バリアフリー演劇「星の王子様」(記:中曽根鈴音)

2022年度の劇団風によるバリアフリー演劇「ヘレンケラー」に引き続き 2023年度は「星の王子様」の演劇鑑賞会を開催しました。開催にあたりかかる費用は、1か月半にわたるクラウドファンディングで皆様のご支援のもと、開催できたものになります。ご寄付いただいた方、応援いただいた方、本当にありがとうございました。申し込み開始から2日間ほどで満席となり、大変驚きました。

バリアフリー演劇はたくさんの方が関心を持つ



ていて、みんなが安心して楽しめる場は本当に大事な空間だなと感じたと同時に、ゆくゆくはこんな空間があちこちで繰り広げられるようになればいいなと思いました。

当日、2人の子供を連れて前列で鑑賞し、盛り上げてくれたSTEPのコーディネーター曾我くんに感想を書いてもらいました。当日の様子がよくわかるように書いてくれているのでそちらを読んでみてください。



### カレーの王子様?! (記:曾我 元)

バリアフリー演劇って聞いたとき、最初のイメージって「アコムのみるコンサート物語のCM」のイメージしか想像できていませんでした。

前回のヘレンケラーでは「サリバン先生」がスタッフの●川に表現方法というか喋り方が似ていたので、しばらくドハマリして真似したのを覚えています。

実は、今回の星の王子様って物語を知らなくて…全く関係ないのですが、子どもころに食べた「カレーの王子様」を「星の王子様」と勘違いしていました。どうでもいいですね、すいません。

僕は、小学校4年生と1歳の息子と参加しました。わくわくしながら会場に入ってみると、僕を見る

なり女性のスタッフの方が素早く対応してくれました。椅子を手配してくれてとても助かりました。「まさか？サリバン先生ですか?!ファンです。」小声で少しだけお話しさせていただきました。俳優さんたちも自分たちが出ていないときは裏方の仕事をしているんだなと驚きつつ、まさかサリバン先生と再会しお話しできると思わず、ドキドキしました。

席は、椅子が置かれている席では一番前、その前にも直接床に座っている親子が多くいる印象でした。

寝っころがって試している子どもや親のあぐらの上に座っている子。

「よ、まってきました！」とでかい声で出てきた女優さんにメロメロなオヤジ。

その隣では「赤いドレスを着ています。舞台の中央に移動しました。」と説明しているヘルパー。

「あー(^)いたー」としゃべりだす我が子「そうだね、きれいなお姉さんきたねー」としゃべりだす僕。

誰も「うるさい」「静かにして」と言わないし、そういう顔もしない空間で物語は進んでいきます。

舞台が始まる前に舞台セットの説明や、舞台上でいろいろな位置から声を出して音の聞こえ方を説明している場面がありました。

本番中、試しに目を閉じてみました、俳優さんたちは声でどの位置にいるかわかるんだな。

背景や舞台セットはナレーションがあるから想像できるな。

耳を抑えてみました、大きな画面に文字おこしがされていて、とても分かりやすいな、と感じました。

途中休憩がありました。緊張感が解けて、舞台を走りまわる子供たち、実際に舞台セットに触れるなんて貴重な体験だと思います。それを怒ることなく見守りながら様子を見ているスタッフの方に驚きました。



最後に会場に来ていた障害のある子・ない子も大人もみんな舞台上上がり、大熱唱しているのはまさにバリアフリーだなと感じました。次はどんな物語かな？楽しみです。

## こうほうかつどう ほうこく 5) 広報活動の報告

2023年度、STEPえどがわの広報活動としてフェイスブックやインスタグラムを中心に日々の活動報告を行いました。特にInstagramは、真面目な活動だけでなく事務所で起きたちよつとしたハプニングやスタッフのプライベート等、より「素」に近い姿をお見せしてきました。いつしか、ネタになりそうなものを見つけるとみんなすぐにスマホで写真を撮る癖が身につき、盗撮魔も増えたとか増えないとか…。STEPの事務所で気を抜いているとすぐにネタにされてしまいますので気を付けてください。笑

そして2023年度はインスタを見てヘルパー募集に問い合わせをくださった方やパソコンテイクになってくださった方がいました。また、すでにヘルパーとして活躍されている方々も見てくれているようで、「疲れた時にSTEPのインスタを見て元気になりました」なんて言ってくれたり、イベント案内の投稿を見て埼玉から遊びに来てくださった方もいて、当初の目的以上のつながりもできて一石二鳥!?の喜びです。インスタを見て“なんか面白そう”と感じたら、その直感に従ってSTEPに来てください。一緒に楽しく活動しましょう～!

また、2023年度は新たな試みとして瑞江駅周辺地域へのポスティング、新聞折込チラシも行いました。ポスティングでは2名、新聞折込では1名の方がヘルパーに応募してくださいませ

た。私は実際にヘルパーさんと一緒にポスティングをしたのですが、住宅街をあちこち回りながら“へえ～、こんなところにお店があったんだ”と発見があったり、自治会の方々とおしゃべりできたりと、地域について知れたことも収穫でした。駅前でのビラ配りも月1回のペースで継続しています。好意的にビラを受け取ってくださる方もいれば素通りする方もいて反応は様々ですが、思い出に残る出来事もありました。それは、ちょっと上品なマダム風の女性が一度私たちの前を素通りした数分後にまた戻ってきて、「これ買ってさ。頑張ってるね!!」と言ってハニーバターチップスを3袋(!)もくださったことです。見方によっては「障害者への施し」にも見えますが、ポジティブな私たちは有難く頂戴して美味しくいただきました。笑笑 こういう地味な活動こそが地域の人々に障害者の存在を知ってもらおう大事な活動なんだなと思いました。今後も自立生活の楽しさを発信しながらゆかいな仲間たちを増やしていきたいと思っています。みなさまもお知り合い等にSTEPのことを紹介していただくと嬉しいです。

※文中に盗撮魔との表現がありますが、基本的には毎回写っているご本人に確認をし、許可をいただけた写真のみを使用しています。

## 6) 講師派遣やネットワーク作りのための外部協力活動

STEPえどがわのスタッフは外部協力として、講師派遣を始め、各種ネットワークや取り組みに協力し活動を行っています。各種団体や学校、行政などと当事者が積極的にかかわりを持つ

ことでSTEPえどがわを知ってもらうとともに、幅広く情報を集め、STEPえどがわの活動に活かしています。

### <2023年4月～2024年3月までの協力活動実績>

スタッフ名	内容
いまむらのぼる りじちょう 今村 登 (理事長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● D P I (認定NPO法人 D P I 日本会議)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・常任委員会(事務局次長)</li> <li>・地域生活部会(部会長)</li> <li>・総括所見 P T</li> </ul> </li> <li>・ D P I 日本会議と東京大学大学院教育学研究科とのフルインクルーシブ教育事業に関する協定書</li> <li>・令和6年度障害福祉サービス費等報酬改定関係(ヒアリング、ロビーイング等)</li> <li>● JIL (全国自立生活センター協議会)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・常任委員会(副代表)</li> <li>・政策委員会(委員長)</li> <li>・研修啓発委員会</li> <li>・国際協力 P T</li> <li>・WIN</li> <li>・国交省関係</li> <li>・移動等円滑化評価会議 &amp; テーマ別意見交換会</li> <li>・障害者等の避難誘導に係る意見交換会</li> <li>・鉄道における障害者の利用環境改善に向けた意見交換会</li> <li>・障害者の居住にも対応した住宅の設計ガイドラインの策定</li> </ul> </li> <li>● TIL (NPO 法人東京都自立生活センター協議会)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営委員会(理事)</li> </ul> </li> </ul>

いまむらのぼる りじちよう 今村 登 (理事長)	とうきょうとけんちくぶつ じようれい かいせい よくしつていりぐちほば つうろはば かくだい ・東京都建築物バリアフリー 条例の改正(ホテルの浴室出入口幅と通路幅を拡大)
つちや みねかず 土屋 峰和 (事務局 長)	こうつう けんしゅう うちあわ ●交通サポートマネージャー 研修 (サポマネ) 打合せ 4/11、4、22、5/23、6/14、6/20、6/24、8/23、9/20、11/22 ほんけんしゅう ●サポマネ 本研修 7/5、7/6、9/27、9/28、12/6、12/7 じえいあーとうかいけんしゅう ●サポマネ J R 東海研修 5/16、6/6 だーびーあいにほんかいぎ ぶかい ●D P I 日本会議バリアフリー部会 4/13、5/11、6/8、7/13、8/17、10/12、11/9、1/11、2/8、3/14 じるーじやいか えぬじーおーていあんがたじぎようかいぎ ●JIL-JICA N G O 提案型事業会議 4/28、7/14、10/31、1/19 りゅうがくせい まつり ●留学生アシャさん 5/19、6/30、7/22(もぐら 祭) しょうがいとうじしゃ ようせいけんしゅう うちあわ ●バリアフリー 障害当事者リーダー養成研修 打合せ 5/25、7/10、8/17、8/23、8/31、9/20、10/3、10/16、1/11、2/8、 2/29、3/7 しょうがいとうじしゃ ようせいけんしゅう ほんけんしゅう ●バリアフリー 障害当事者リーダー養成研修 本研修 10/6、10/7、10/8、3/5(エコモ財団報告) ていあつと とうきょうこくさいくうこう よう しゃたいおうくねん くるまいす ●TIAT(東京国際空港ターミナル)要サポート者対応訓練(車椅子) 6/26、11/30 しょうがっこうでまえじゅぎょう ●小学校出前授業 10/14(上一色小学校)、11/28(葛西小学校)、1/20(小松川小学校) えどがわ ぼうさい えみんぼう ●江戸川みんなの防災プロジェクト(EMINBO) 7/23、8/16 じゃくさこうくうき かきょうりよく ●JAXA航空機バリアフリー化協力 7/26、9/29、10/27 ゆーでいー かか いけんこうかんかい ●U D タクシーに関わる意見交換会 8/30(打合せ)、9/21(打合せ)、11/1(意見交換会) のうみぼうさいしゅざい ●能美防災取材 8/7 えどがわくやくしよ きょうりよく ●江戸川区役所メタバース協力 9/20 ふみきりみちてんじ じっけん ●踏切道点字ブロック実験 10/12 ゆーでいー いっせいじょうしゃ うちあわ じっし ●U D タクシー一斉乗車 10/18(打合せ)、10/20(実施) ●もぐらオンブズマン活動 10/25、12/12、2/20 とつきゅうしんがたしゃりょうせつめいかい とつきゅう いー けい ●特急新型車両説明会 12/5(特急やくも)、1/22(E8系) ぱりあふりーじゅうたく ●B F 住宅ガイドラインヒアリング 12/15 しゅくはくしせつぱりあふりーきじゅんけんしゅう ●宿泊施設 B F 基準検証 12/20

<p>つちや みねかず                  土屋 峰和                  (事務局 長)</p>	<p>●ゆうと ぼりあふりーちようさたい 1/23(うちあわ 1/23(打合せ)、2/27(こうぎ 2/27(講義))                  ●だいがくこうぎ 1/27(だいたうぶんかだいがく 1/27(大東文化大学))</p>
<p>ひるかわ りようこ                  蛭川 涼子                  (当事者)</p>	<p>●とうきようとそうだんしえんじゆうじしゃけんしゅうけんとうかいいん 東京都相談支援従事者研修検討会委員                  ぜんたいかいぎ ぜん かい 全体会議 全4回(5/24、9/8、12/19、2/26)                  ないようせいり かいぎ 内容整理チーム会議(6/21、7/27、9/14、2/13)                  しょにんけん かいぎ 初任研チーム会議(7/5、8/22、8/25、2/19)                  せんもん べつけんしゅう かいぎ 専門コース別研修チーム会議(7/20、9/4、10/23、1/19)                  ●えどがわくそうだんしえんじぎょうしゃれんらくきょうぎかい えそうれん 江戸川区相談支援事業者連絡協議会(江相連)                  りじかい 理事会 (4/21、7/12、11/7、12/13)                  けんしゅうぶかい 研修部会(4/13、6/7、7/26、11/1、12/12、1/9、2/28)                  ていれいかい つき かい 定例会 月1回                  ●えどがわくちいきじりつしえんきょうぎかい 江戸川区地域自立支援協議会(6/7、9/7、11/13、1/17)                  ●えどがわくいどうしえんとうれんらくかい いどうれん 江戸川区移動支援等連絡会(移動連)(6/27、7/24)                  ●えどがわく せいしんしょうがい たいおう ちいきほうかつ 江戸川区の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム・ピアサポート                  わーきんぐぐるーが W G (4/7、6/1、8/7、10/12、12/1、)ぜんたいかい(7/13、2/29)                  ●えどがわくしょうがいしゃだんたいれんらくかい しょうだんれん ていれいかい 江戸川区障害者団体連絡会(障団連)定例会(6/6)                  ●とうきようとしりつせいかつ きょうぎかい ていりる 東京都自立生活センター協議会(TIL)                  そうだんしえん 相談支援サポートグループ(4/28、6/23、8/25、10/27、12/22、2/16)                  うんえいいんかい 運営委員会(4/17、9/21、3/21)                  ●さんしょうがいフォーラム                  ていれいかい そうかい 定例会(5/8=総会、7/3、11/13、1/23、3/18)                  べんきょうかいいんかい べんきょうかい 勉強会委員会(4/25、10/27、11/9、2/8、3/7=勉強会)                  ●れいわ ねんどこうせいろうどうしょうしょうがいしゃそうごうふくしすいしんじぎょう しょうがいしゃ けんしゅう 令和5年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業「障害者ピアサポート研修                  じぎょう しょうがいとうじしゃ さんかく じつたいはあくおよ ほうさく ちようさけんきゅう 事業における障害当事者の参画の実態把握及び方策についての調査研究」                  けんとういんかい 検討委員会(9/1、10/30、12/11、2/13、3/14)                  わーきんぐぐるーが ガイドブック W G (11/16、12/22、2/29)</p>
<p>くどうとしこどう                  工藤登志子(同)</p>	<p>●こうれいしゃ きよじゅう じゅうたく せつけい かかわ ししん みなお 高齢者が居住する住宅の設計に係る指針(バリアフリーガイドライン)の見直し                  とう かん だい かいけんとうかい こくどうつうしょう 等に関する第1回検討会(国土交通省) 4/12</p>

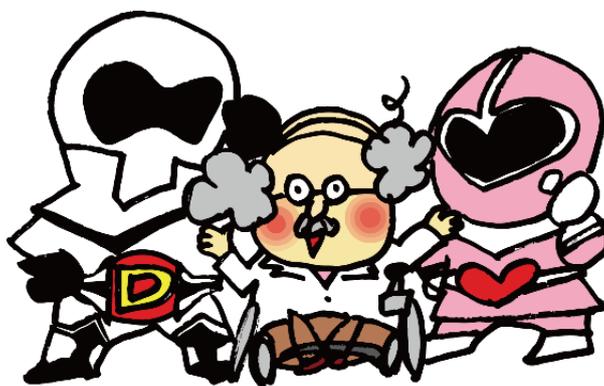
<p>くどうとしこどう                  工藤登志子(同)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ちほうぶ くるま たいおう ふきゅう む けんとう せつめいかい                      地方部における車いす対応タクシーの普及に向けた検討について説明会                      (国土交通省) 4/14</li> <li>● しゅざいきょうりよく けいびーえす                      バリアフリー取材協力(KBS) 4/27</li> <li>● さいとくこくどうつうだいじん しさく すいしん ようほうしよていしゆつ                      齊藤国土交通大臣へ「バリアフリー施策の推進について」要望書提出                      (国土交通省) 5/8</li> <li>● えどがわ ていれいかい                      江戸川さんしょうがいフォーラム定例会 5/8</li> <li>● たよう せい いえす ひ けいはつ さんか えどがわ                      多様な性にYES! の日 啓発イベント参加(江戸川さんしょうがいフォーラム)                      5/27</li> <li>● えびはらひろみききん せんこうかい                      海老原宏美基金 選考会 5/27・5/28</li> <li>● なりたくうこうげんちひょうか や ちよ かぶしきがいは                      成田空港現地評価(八千代エンジニアリング株式会社) 6/2</li> <li>● こうらくもり てんけん こうえきざいだんほうじんこうつう ざいだん                      後楽森ビルのトイレ点検(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)</li> <li>● しんきじゆんてきやう くるまいすやう とうぶてつどう えぬ けい                      新基準適用の「車椅子用フリースペース」(東武鉄道 N100 系) 6/19                      (スパーシア X )試乗(国土交通省)6/20</li> <li>● だい かいいどうとうえんかつかひょうかかい ぎ かんどうばんかかい かんどううんゆきよく                      第5回移動等円滑化評価会議関東分科会(関東運輸局) 6/20</li> <li>● けんちくぶつ きじゆん みなお かん けんとうわーきんぐぐーが こくどうつうしやう                      建築物のバリアフリー基準の見直しに関する検討WG(国土交通省)                      6/23</li> <li>● じるそうかいさんか ぜんこくじりつせいかつ きやうぎかい                      JIL総会参加(全国自立生活センター協議会) 6/27・6/28</li> <li>● だい かいせいしょうがいしゃさべつかいしやうほう しこう む いけんこうかんかい                      第2回改正障害者差別解消法の施行に向けた意見交換会                      事前説明会(国土交通省) 6/30</li> <li>● えどがわ ていれいかい                      江戸川さんしょうがいフォーラム定例会 7/3</li> <li>● だい かいあら にちじやうせいかつ しやうがいしゃ こうれいしゃ はいりよ かん                      第1回新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する                      国際標準化委員会(本委員会)(公益財団法人 共用品推進機構) 7/6</li> <li>● だい かいせいしょうがいしゃさべつかいしやうほう しこう む いけんこうかんかい こくどうつうしやう                      第2回改正差別解消法の施行に向けた意見交換会(国土交通省) 7/10</li> <li>● だい かいしかくしやうがいしやとう どくしよかんきやう せいび すいしん かわ かんけいしやきやうぎかい                      第9回視覚障害者等の読書環境の整備の推進に係る関係者協議会                      (厚生労働省) 7/18</li> <li>● だい かいゆーでいー じやうしやうんどうじつこういんかい にんていえぬびーおーほうじんていーびーあいほん                      第1回UDタクシー乗車運動実行委員会(認定NPO法人DPI日本                      会議) 8/30</li> <li>● しやうがいしやとう ひなんゆうどう かわ いけんこうかんかい こくどうつうしやう                      障害者等の避難誘導に係る意見交換会(国土交通省) 9/1</li> </ul>
-----------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>くどうとしこどう                  工藤登志子(同)</p>	<p>● Mobility for ALL2023 実証実験(一般財団法人トヨタ・モビリティ基金)                  9/2~9/3</p> <p>● 令和5年度第一回JIS Z 8210原案作成委員会(一般財団法人日本規格協会) 9/7</p> <p>● 2023 ソウル国際障害者パークゴルフーナメント 出場(ソウル国際パークゴルフーナメント準備委員会) 9/11~9/13</p> <p>● 国立公園集 団施設地区等 U D 調査(足摺岬)事前説明会(株式会社アークポイント) 9/21</p> <p>● デロイトーマツ社内のバリアフリーチェック(デロイトーマツグループ) 9/22</p> <p>● 第一回図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する検討会(国立国会図書館) 9/25</p> <p>● 江戸川さんしょうがいフォーラム定例会 9/25</p> <p>● JAXA意見交換会(JAXA) 9/29</p> <p>● 第2回踏切道等における視覚障害者誘導対策 W G (国土交通省) 10/5</p> <p>● 国立公園集 団施設地区等 U D 調査(足摺岬)(株式会社アークポイント) 10/17~10/19</p> <p>● 全国一斉行動! U D タクシー乗車運動(認定NPO法人D P I日本会議) 10/20</p> <p>● JAMCOラバトリーコンセプト検証(JAXA) 10/27</p> <p>● U D タクシーに関わる意見交換会(国土交通省) 11/1</p> <p>● 東京都障害者差別解消支援地域協議会部会(東京都福祉局) 11/6</p> <p>● R 05読書バリアフリー環境整備のための電子書籍市場等の拡大に関する検討会 第1回(経済産業省) 11/9</p> <p>● 全国一斉 U D タクシー乗車運動の報告(国交省訪問)(認定NPO法人D P I日本会議) 11/13</p> <p>● 江戸川さんしょうがいフォーラム定例会 11/13</p> <p>● S C G Landscape社主催・バンコク都等による日本視察(D D コンサルティング) 11/17</p>
-----------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>くどうとしこどう                  工藤登志子(同)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>A B S C</b>を活用した電子データの授受に係るヒアリング調査(厚生労働省)                      11/30</li> <li>● 当事者目線に立ったバリアフリー環境の課題等に関する現地調査(関東運輸局)12/1</li> <li>● 政策討論集会国際分科会講演協力(認定NPO法人D P I日本会議)                      12/3</li> <li>● J R 西日本 特急やくもの説明会(国土交通省) 12/5</li> <li>● メタバース区役所の検証実験(江戸川区役所) 12/11</li> <li>● 令和5年度第二回JIS Z 8210 原案作成委員会(一般財団法人日本規格協会) 12/12</li> <li>● 大杉第二小オンライン授業 講師協力(江戸川区役所) 12/14</li> <li>● 海老原宏美基金 2023年度助成事業報告会 12/16</li> <li>● JIL総会(全国自立生活センター協議会) 12/19・12/20・12/21</li> <li>● 足摺岬のU D 化勉強会 講師協力(株式会社アークポイント) 1/18</li> <li>● 東京都障害を理由とする差別解消のための調整委員会(定例会)(東京都福祉局) 1/19</li> <li>● J R 東日本 山形新幹線E8系説明会(国土交通省) 1/22</li> <li>● 江戸川さんしょうがいフォーラム定例会 1/23</li> <li>● 第2回新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会(本委員会)(公益財団法人 共用品推進機構) 1/25</li> <li>● 愛重連シンポジウム 2023 講師協力(愛知県重度障害者団体連絡協議会)1/28</li> <li>● 令和5年度 公共交通機関のバリアフリー基準等に関する検討会(国土交通省) 1/30</li> <li>● 第2回 読書バリアフリー環境整備のための電子書籍市場等の拡大に関する検討会(経済産業省) 2/5</li> <li>● 障害者差別解消支援地域協議会部会(第2回)(東京都福祉局) 2/5</li> <li>● 浦安市研修(ファシリテーター参加) 2/20</li> </ul>
-----------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>くどうとしこどう                  工藤登志子(同)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <small>れいわ ねんどだいさんかいじす ぜっと げんあんさくせいいいんかい いっぱんざいだんほうじんにほんきかく</small>                      令和5年度第三回JIS Z 8210 原案作成委員会(一般財団法人日本規格協会) 2/21</li> <li>● <small>じゃいか うんえいいじかんりけんしゅう こうしきょうりよく いっぱんざいだんほうじんにほん</small>                      JICAラオスタジアム運営維持管理研修 講師協力(一般財団法人日本国際協力センター) 2/29</li> <li>● <small>だい かい どのしよ かんきょうせいび でんししよせきしじょうとう かくだい かん</small>                      第3回 読書バリアフリー 環境整備のための電子書籍市場等の拡大に関する  <small>けんとうかい けいざいさんぎょうしやう</small>                      検討会(経済産業省) 3/5</li> <li>● <small>じゃくさこうくう がくしゅうかい じゃくさ</small>                      JAXA航空バリアフリー学習会(JAXA) 3/6</li> <li>● <small>しんこくりつきやうぎじやう いっぱんざいだんほうじんにほんこくさいきょうりよく</small>                      新国立競技場スタジアムツアー(一般財団法人日本国際協力センター)                      3/9</li> <li>● <small>しやうがいしやとう ひなんゆうどう かがわ いけんこうかんかい こくどうつうしやう</small>                      障害者等の避難誘導に係る意見交換会(国土交通省) 3/15</li> <li>● <small>えどがわくとくべつしえんがつきやうがっこうしんる</small>                      江戸川区特別支援学級学校進路フェア 3/17</li> <li>● <small>れいわ ねんどだい かい としよかん でんししよせき かん</small>                      令和5年度第2回 図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する  <small>けんとうかい こくりつこっかいとしよかん</small>                      検討会(国立国会図書館) 3/18</li> <li>● <small>えどがわ ていれいかい</small>                      江戸川さんしょうがいフォーラム定例会 3/18</li> <li>● <small>でんし じゅじゅ かがわ かん いけんこうかんかい こうせいろうどうしやう</small>                      電子データの授受に係るヒアリングに関する意見交換会(厚生労働省)                      3/21</li> <li>● <small>えどがわくしやうがいふくしか ようぼうしよていしゆつ いけんこうかんかい えどがわ</small>                      江戸川区障害福祉課へ要望書提出・意見交換会(江戸川さんしょうがいフォー                      ラム) 3/28</li> <li>● <small>だい かいいどうとうえんかつかひやうかかいぎ ほうちやう かんとううんゆきやく</small>                      第11回移動等円滑化評価会議 傍聴(関東運輸局) 3/29</li> </ul>
<p>なかそねすずね どう                  中曽根鈴音(同)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <small>じる ちやうかくしやうがい</small>                      JIL聴覚障害プロジェクトチーム  <small>ぜんたいかいぎ つき かい たいめんかいぎ</small>                      全体会議 月1回・対面会議 5/17</li> <li>● <small>どうろくもじつうやくしやむ けんしゅうかい</small>                      登録文字通訳者向け研修会 12/8</li> <li>● <small>ちやうかくしやうがいしやむ こうりゅうかい</small>                      聴覚障害者向け交流会</li> <li>● <small>ちやうかくしやうがいしやゆうせん</small>                      聴覚障害者優先ピアカングループ  <small>しゅうちゅうこうざ</small>                      集中講座 11/11~11/12</li> <li>● <small>じやうほうほしやう</small>                      情報保障チーム</li> <li>● <small>じる じよせい せかいわーくしよがごうどう</small>                      JIL女性プロジェクト世界 W S 合同チーム  <small>ていれいかいぎ つき かい</small>                      定例会議 月1回</li> <li>● <small>けんしゅう</small>                      研修イベント 7/22</li> </ul>

<p>なかぞねすずね どう          中曽根鈴音(同)</p>	<p>● <small>じるけんしゅうけいはついいんかい</small>          JIL 研修啓発委員会</p> <p>● <small>ていつが どうきょう きょういく</small>          TIP(東京インクルーシブ教育プロジェクト)</p> <p><small>つき かにいていれいかいぎ べんきょうかい</small>          月1回定例会議・勉強会 9/23</p> <p>● <small>じる きょういく</small>          JILインクルーシブ教育プロジェクト</p> <p><small>こうえんかいきょうりよく</small>          講演会協力 11/28</p> <p><small>うんえいいんかい つき かい</small>          運営委員会 月1回</p> <p>●アメニティーフォーラム 2/9～2/11</p> <p>● <small>えんげきけんきゅうかい</small>          バリアフリー演劇研究会</p>
<p>いちかわ ひろみ          市川 裕美          (コーディネーター)</p>	<p>● <small>えみんぼう えどがわ ぼうさい</small>          EMINBO(江戸川みんなの防災プロジェクト) 4/19, 5/23, 8/16, 9/6, 12/4</p> <p><small>あらかわりゅういきじゅうみんぼうさい</small>          荒川流域住民防災ネットワーク 4/2, 6/4, 7/2, 8/6, 9/3, 10/1, 11/19</p> <p>● <small>ていぶいえーしー どうきょう しみんかつどう さくていいんかいほか</small>          T V A C (東京ボランティア・市民活動センター)アクションプラン策定委員会他</p> <p>7/18, 8/10, 9/19, 11/21, 12/1, 12/7, 1/9, 1/19, 2/13, 3/12, 3/14</p> <p><small>こうのだい</small>          国府台コンソーシアム 9/15</p>



しょうがい ふくし かいご ほけん じぎょう  
 ④ 障害福祉・介護保険事業

りようしゃすう どうろくすう はけんじかんすう  
 1) 利用者数・ヘルパー登録数・派遣時間数

かいじよはけん  
 < 介助派遣 >

りようしゃすう 利用者数	にん (うち 4人 にかいごほけん サービス へいよう 併用) 46人 しんきりようしゃ めい ※新規利用者 0名	
ヘルパー数	だんせい にん (うち しゃいん 10人) 39人 じよせい にん (うち しゃいん 8人) 55人 ※性別は自身の申告による性別です。	
はけんじかんすう 派遣時間数	じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護	53638.5時間
	きょたくかいご しんたい かじ 居宅介護(身体・家事)	2118.5時間
	いどうしえん 移動支援	1407.0時間
	かいごほけん 介護保険	2020.5時間
	じひ ちゅう 自費(注1)	889.5時間
あいえるじひ ちゅう IL自費(注2)	23.0時間	
ごうけい 合計	60,097時間	

ちゅう じゅうばん しきゅうけつてい  
 (注1) 十分な支給決定がされず  
 ふそく かいじよじかん または しょうがい  
 不足する介助時間、または障害  
 ふくし サービスで認められていないけ  
 れども しょうがいしゃ せいかつ ひつよう  
 不可欠とされる事柄について 介助  
 派遣を行ったもの。  
 (注2) 施設生活のため、移動支援  
 や じゅうどほうもんかいご しきゅうけつてい  
 重度訪問介護の支給決定がされ  
 ていない人が 体験ルーム 利用中に  
 つか 使ったヘルパー派遣

けんしゅうかい きぬのかわゆう  
 2) ヘルパー研修会(記: 布川悠)

すてつぷ ちしき こうじょう たが こうりゅう  
 STEPでは、知識の向上やお互いの交流など  
 もくてき つき かい じかんていど  
 を目的に月に1回2時間程度で「ヘルパー研修会」  
 かいさい さくねんど けい かい さまざま  
 を開催しております。昨年度は計9回、様々なテ  
 ーマで研修会を行いました。

がいぶこうし かた かいさい ねが  
 外部講師の方にも4開催お願いしました。  
 すてつぷぜんたい そんげんせい  
 STEP全体として「尊厳生」「いのちについて」を  
 テーマに挙げ、専門家の方に実際の現場にも触れ  
 ながらお話をしてもらおうというとてもいい機会と  
 なりました。

くがつ がいぶこうしふるやま かい じっさい  
 9月の外部講師古山さんの会では、実際に

ひとりぐ じつげん かのじよ とお じむしょ  
 一人暮らしを実現した彼女が遠くから事務所まで  
 き どうそうかい なつ きも  
 来てくれて、同窓会のような懐かしい気持ちにな  
 りつつ・・・現在国立市でたくましく生活している  
 ふるやま はなし きも  
 古山さんのお話に、とてもうれしい気持ちになり  
 ました！！

がつ けんしゅう おこな みちみ  
 11月に研修を行ってくださった道見さんは、  
 すてつぷ どうじしゃかつどう すいどうー さんか  
 STEPの当事者活動である水Doにも参加してく  
 ださっています。こうした活動を通して知り合った  
 かた けんしゅうかいこうし ひ う とき  
 方が研修会講師を引き受けてくださったり、時  
 には喫煙所での立ち話から「この話、研修会で

もとあげよう！」と盛り上がったりすることが  
 さいきんふ 最近増えているように感じます。結構ちょっとし  
 かいわ なか 会話の中で、「最近みんなこれをよく話題にあげ  
 ているなあ・・・」「共通する悩みだな」と感じるこ  
 とも多いので、日頃から研修会アンテナをはって、  
 れいわ ねんど 令和6年度の研修会も盛り上げていきたいなと  
 おも 思います。

ことし 今年「昼食会付き研修会」を復活させたい  
 もくろ 目論んでおります！（昔はうなぎ弁当が出る  
 けんしゅうかい 研修会がありました。その時だけ参加率は爆上  
 がりでした・・・リッチな時代・・・）何のお弁当がい  
 かな～。予算とにらめっこしながら検討したいと  
 おも 思います。その際は是非遊びに来てください。

かいさいび 開催日	テーマ	さんかしゃ 参加者
がつはつか もく 4月20日(木)	そんげん も い ずずき じれい かんが 尊厳を持って生きるとは？～鈴木さんの事例から考える～ がいぶこうし しーあいえる だいひょう おかもとなおき ひるかわ (外部講師: C I Lふちゅう代表 岡本直樹さん、蛭川)	めい 15名
がつ にち きん 5月12日(金)	かいかいしえん ほうこくかい くとう ぬのかわ 海外支援「ベトナム」報告会(工藤、布川)	めい 27名
がつこのか きん 6月9日(金)	せいしんしょうがい はったつしょうがい あだち 「精神障害・発達障害」について(足立)	めい 20名
がつ にち きん 7月21日(金)	こころ けんこう やいのちについて かんが 考える「ゲートキーパー養成講座」 がいぶこうし えどがわく しえんがかり うさみ みさ (外部講師: 江戸川区いのちの支援係 宇佐美 美沙さん)	めい 14名
がつ にち か 9月19日(火)	ねんかん あいえるびー へ ひとりぐ じつげん ふるやま はなし 4年間のILPを経て一人暮らしを実現させた古山さんのお話 がいぶこうし ふるやまあやか ひるかわ (外部講師: 古山彩花さん、蛭川)	めい 19名
がつ にち きん 10月27日(金)	しょうがいしやぎやくたい かんが かんせんしょうよぼう ぬのかわ いちかわ 障害者虐待について考える、感染症予防について(布川、市川)	めい 14名
がつ にち すい 11月15日(水)	もう まな がいぶこうし みちみ ゆき なかそね 「盲ろう」について学ぶ(外部講師: 道見美由紀さん、中曽根)	めい 18名
がつ にち もく 1月18日(木)	じ こたいおう しゅひぎむ そが ヒヤリハット・事故対応、守秘義務について(曾我)	めい 15名
がつ にち か 3月26日(火)	ボディメカニクス けんしゅう いちかわ 研修(市川)	めい 16名

### 3)利用者さん紹介「渡邊順子さん」(記:岡本莉奈)



こんかい すてっぷ 利用者さんである渡邊順子さんに、水Doの活動や自立生活の様子などのインタビューをしました！自分の好きなものを食べたい…という思いからはじまる自立生活が、知らぬ間に障害者運動となり、社会を少しずつ変えていく？！

#### 【水Doの感想！編】

岡本)水曜日に活動している水Doに順子さんも参加していますが、印象に残っている会や楽しかった活動などはありますか？

順子さん)えーなんだろう…。ビーズで絵を描くのがあって、そういうのは苦手だけど、額縁に入れたらそれなりになってよかったです(笑)。家に飾ってますよ。

岡本)おおー！楽しそう！他には何かありますか？

順子さん)パンを作りましたね。初めてパンを作れて楽しかったです。なんか、ハムとか入れたかな？

岡本)食べる系、いいですねー！わたしも食べる専門なら得意なので誘ってください(笑)。あと、来年度の水Doでやりたいことは、ありますか？

順子さん)やりたいことお…どこか行ったりとかしたいですね。水族館とか猫カフェとか？

岡本)いいですね～。外出も楽しいですね。そういえば、順子さんは外食によく行きますか？

#### 【STEP周辺のおすすめ店！編】

順子さん)んん～まあ…そうですね。あそこの、こめ屋は、米が違っておいしいですよ。肉料理とかもおいしいですね。

岡本)そういえば、こめこめ屋の第一号だとか？！さすが、順子さん。

順子さん)ああ、そうなんです。自分でもびっくりして(笑)。他に駅前の焼肉屋さんもいいですよ。

なに食べたか忘れたけど(笑)

岡本)忘れたんかい！(笑)

順子さん)ははは(笑)でも、段差があって、お店の人が手伝ってくれたんですよ。近くにあるお寿司屋さんも。

#### 【順子さんの夢！編】

岡本)おおお！それは、障害者運動じゃないです

か！その【食】を原動力として、これからの自立  
生活の夢はありますか？

順子さん)ゆめ…夢かあ。そうですねえ…猫飼うの  
が夢なんです。猫好きで、やっぱり猫カフェ行き  
たいですねえ。

岡本)では、来年度は、猫カフェにチャレンジです  
ね！

【食】と【猫】を追い求める順子さんの自立生活  
は続くのであった…



## 4) Youは何しにSTEPへ？(ヘルパー紹介)

### 1. 前田大祐さん



#### TRAINING DAY~カメの歩みのように~

こんにちは、STEPえどがわ(以下STEP)登録ヘルパーの前田です。STEPにお世話になって早8ヶ月。みなさまにはいつもよくしていただいております。

最近、障害学や人権、民主主義や地域の福祉について考え、学びながらのお仕事です。障害者の自由と解放、マイノリティであること、障害者は完全な市民であるか？とか。ボク自身統合失調症の当事者です。発症は1998年7月のある夜でした。それから25年、いろいろありました。症状はだいが落ち着いてきて、今では自分で合同会社を設立して、将来障害者を対象にした江戸川区なごみの家の事業の受託をめぐり、その法人の実績作りのため日々活動し

ています。

ヘルパーを始めた動機は、友達がSTEPの利用者さんで、彼からの誘いがあったやってみようと思いましたが、精神だけでなく広く障害のことを学びたいと考えたことと、彼との信頼関係です。本来なら現場に入ってから利用者さんと、じっくり築き上げるものだと思うのですが、ボクの場合、すでに彼とのある程度の信頼関係があったのです。それは今も少しずつ強く、確かなものになっています。

無関心でないこと。自分のアタマで考え主体性をもって行動すること。仕事って主体的にやらないとつまらないですよ？自分のことは自分で決める、ボクは利用者さんに対してそのことをいつも尊重しています。意思決定権の行使は基本的なことだと思っております。

現場へ出て、経験して、考え、工夫して、それをまた実践する。インプットとアウトプットを繰り返し、成長していく。トレーニングデイ。

今、ボクは毎日が楽しくて仕方ありません。



## かいもとちほ 2. 皆元千穂さん



だいがく ねんせい かいもとちほ げんざい さぎょうりょうほう  
大学2年生の皆元千穂です。現在、作業療法  
についてまな  
学んでいます。

わたし すてっぷ はい だいがく おこな  
私がSTEPに入ったきっかけは、大学で行わ  
れたがいぶ かた まね とくべつこうぎ とくべつ  
外部の方を招いての特別講義でした。特別  
こうぎ もじつやく み もら あと しゃいん  
講義では文字通訳などを見せて貰った後、社員の  
かた すてっぷ がくせい ぼしゅう おこな  
方から「STEPで学生ヘルパーの募集を行って  
いるという」というはなし き を聞きました。なつやす まえ  
夏休み前  
ということもあり、なに あたら ちようせん  
何か新しいことに挑戦してみ

たかったので、おも き おうほ  
思い切って応募してみることにしま  
した。

しかく しゆとく あと じっさい りようしゃ じたく  
資格を取得した後、実際に利用者さんのご自宅  
にヘルパーとしてかよ  
通うようになりました。それぞれ  
のりようしゃ  
利用者さんによってせいかつようしき まった こと  
生活様式が全く異なるた  
め、慣れるまでにとてもじかん  
時間がかかりましたが、  
「いじょう うま  
「移乗が上手くなった」などほ  
褒めていただけたとき  
などは、とてもうれ  
嬉しく、やりがいを感じる  
ことができました。

また、ヘルパーをはじ  
始めてからだんだんとじりつ  
自立  
生活にたい  
対してのかんが  
考え方が変わってきたように感  
じます。み まわ  
身の回りのことを自分自身で  
行おうことだ  
けがじりつ  
自立というわけではなく、じぶん  
自分の意思でやり  
たいことをけつだん  
決断していくことがほんらい  
本来の自立生活  
なのだとしりつ  
利用者さんとの関わりをとお  
通して気がつく  
ことができました。

しょうらい いりようしよく つ わたし  
将来、医療職に就く私にとって、このような  
きちよう けいけん がくせい とし  
貴重な経験を学生の時からすることができ、とて  
よ  
良かったと思っています。これからもりようしゃ  
利用者  
のかたがた みずか いし せんたく  
方々が、自らの意思で選  
択をしながらせいかつ  
生活が  
できるよ  
うにヘルパーとしてできることをさいだいげん  
最大限  
おこな  
行いながらサポートにつと  
努めていきたいです。



ようせい けんしゅう じぎょう  
⑤ 養成研修事業



き なかそねともあき  
(記:中曾根知明)

じゅうど ほうもん かいご じゅうぎょうしゃ ようせい けんしゅう および かくたん  
**重度訪問介護従業者養成研修及び喀痰**  
きゅういんどうだいさんごうけんしゅう  
**吸引等第三号研修**

すてっぷ  
STEPえどがわでは、基本的<sup>きほんてき</sup>に毎月<sup>まいつきけんしゅう</sup>研修の  
かいさい よてい  
開催<sup>かいさい</sup>を予定<sup>よてい</sup>しており、重度訪問介護従業者<sup>じゅうどほうもんかいごじゅうぎょうしゃ</sup>  
ようせいけんしゅう  
養成研修<sup>ようせいけんしゅう</sup>は、ヘルパーとして働<sup>はたら</sup>くための資格<sup>しかく</sup>で  
あり、<sup>かくたんきゅういんどうだいさんごうけんしゅう</sup> 痰吸引<sup>たんきゅういん</sup>や  
けいかんえいよう い ひつよう かた  
経管栄養<sup>けいかんえいよう</sup>(胃ろう<sup>い</sup>など)を必要<sup>ひつよう</sup>とする方<sup>かた</sup>へ、サービ  
ていきょう ひつよう しかく  
スを提供<sup>ていきょう</sup>するために必要<sup>ひつよう</sup>な資格<sup>しかく</sup>です。

2023度は、<sup>ど</sup> 両<sup>りょう</sup> 研修<sup>けんしゅう</sup>とも<sup>とも</sup> 昨年度<sup>さくねんど</sup>よりも<sup>わり</sup> 3割<sup>わり</sup>  
ていど<sup>ていど</sup> 受講生<sup>じゅこうせい</sup>が<sup>すく</sup> 少ない<sup>じょうきょう</sup> 状<sup>すこ</sup> 況<sup>さび</sup> でした<sup>かん</sup>。少し<sup>すこ</sup> 寂しい<sup>さび</sup> 感<sup>かん</sup>  
じがしますが、それぞれの<sup>じゅこうせい</sup> 受講生<sup>げんぱ</sup>が<sup>かつやく</sup> 現場<sup>げんば</sup>で<sup>か</sup> 活躍<sup>かつやく</sup>  
してくれているので<sup>おも</sup> うれしく<sup>ねんど</sup> 思<sup>ひ</sup>います。24年度<sup>ねんど</sup>も引<sup>ひ</sup>  
つづ <sup>けんしゅうかい</sup> 研修会<sup>けんしゅうかい</sup> を<sup>かいさい</sup> 開催<sup>かいさい</sup> し、<sup>りようしゃ</sup> 利用者<sup>りようしゃ</sup> の<sup>じりつせいかつ</sup> 自立生活<sup>じりつせいかつ</sup> を  
ささ <sup>さいわ</sup> 支<sup>さいわ</sup> えて<sup>さいわ</sup> くれれば<sup>さいわ</sup> 幸<sup>さいわ</sup> いです。

じゅうど ほうもん かいご じゅうぎょうしゃ ようせい けんしゅう  
**重度訪問介護従業者養成研修** <sup>ねん</sup> <sup>がつ</sup> <sup>ねん</sup> <sup>がつ</sup> <sup>じっせき</sup>  
<2023年4月~2024年3月実績>

じっしかいすう 実施回数	かい 3回	8/3・4、9/7・8、12/16・17
じゅこうせい 受講生	のべ <sup>にん</sup> 13人	

かくたんきゅういんどうだいさんごうけんしゅう  
**喀痰吸引等第三号研修** <sup>ねん</sup> <sup>がつ</sup> <sup>ねん</sup> <sup>がつ</sup> <sup>じっせき</sup>  
<2023年4月~2024年3月実績>

きほんけんしゅう じっしかいすう 基本研修の実施回数	かい 7回	5/7、6/5、8/5、9/18、10/8、12/9、3/23
じゅこうせい 受講生	のべ <sup>にん</sup> 28人	

《コラム》

かくたんきゅういんとうけんしゅう ごうけんしゅう いま  
喀痰吸引等研修(3号研修)の今

き いちかわひろみ  
(記:市川裕美)

2012年から、介護福祉士または一定の条件を満たした介護職員に対して、喀痰吸引・経管栄養などの医行為が行なえるように制度が改正されました。これは2006年国連で採択された「障害者権利条約」が大きく影響していると考えられます。権利条約第19条に「居住地を選択し及びどこで誰と生活するかを選択する機会を有すること並びに特定の生活施設で生活する義務を負わないこと」と謳われていて、医療ケアが必要な人であっても、家族介護や特定の施設という選択肢だけでなく、地域での一人暮らしなど自分が望む生活スタイルを選択できなければならないという事を意味しています。つまりは医療ケアが医療者が業務ではない家族だけしか行なえないという制度ではこの条文に反するという事になり、医療ケアが行なえる介護職員の養成が必要になり作られた制度なのです。またこの制度ができた事により、今まで介護の実務経験が3年あると受験できた介護福祉士の国家資格も必ず医療ケアの研修を受けていることが必要になりました。ちなみにSTEPで開催している3号研修は特定の人の特定の行為のみが行なえるもので、8時間の講習とテスト・演習からなる「基本研修」と、特定の人に直接特定の行為を実施する「実地研修」で認定が取れますが、前述の介護福祉士は50時間の講習と演習、20回の実地からなる1号・2号研修で、1度認定を取った行為に関しては、どんな人に対しても介護業務として行なう事ができるというものです。

あれから12年が経ちました。この医療ケアが介護職員にあたりまえの介護業務となっていて良い頃かと思うのですが、実は満10年となった令和4年4月時点での認定者の累計が

全国で	1号:14,436人	2号:87,116人	3号:161,528人
東京都	1号307人	2号 4,450人	3号:20,834人

しかいないのです。

介護福祉士試験は毎年約6万人が合格しているのでこの10年の累計約60万人、介護福祉士の業務となっているはずの医療ケアができる1号・2号認定者は2割にも満たないという現状にあります。(1号・2号の累計は介護福祉士以外の介護職員や、10年以上前に資格を取得した者も含まれている可能性があるのですが、実際の割合はもっと下がると思われます)なぜ1号・2号の認定者がこんなに

すく さまざま ようせいきかん じかん こうしゅう えんしゅう しゅうりょう かりめんきよ  
少ないかという、様々な養成機関では 50時間の講習と演習までで修了し、いわば仮免許の  
じょうたい じっちけんしゅう しゅうしょくさきとう おこ こと せいどじたい いりようきかん  
状態で、実地研修は就職先等で行なう事となっているのですが、この制度自体が医療機関は  
たいしょうがい しせつ にゅうしょしや おこな にゅうしょしせつ し  
対象外となっているため施設などの入所者に行わなければなりません。ところが、入所施設には資  
かく も じゅうぎょうしや ため いりよう ひつよう かた う い むじゆん しょう  
格を持つ従業者がいない為、医療ケアが必要な方は受け入れてもらえないという矛盾が生じてい  
るのです。

いっぽう ごうけんしゅう おも ざいたく く いりよう ひつよう かた たいしょう しゅじい しじしよ  
一方、3号研修は主に在宅で暮らす医療ケアが必要な方を対象とし、主治医からの指示書もら  
い、実際に入ってもらふ介助者に3号の研修(基本)を受けてもらい、訪問看護等日頃からかわりの  
いりようしや じっちけんしゅう しどう とどうふけん しんせい にんてい う なが  
ある医療者に実地研修の指導をしてもらって都道府県に申請をして認定を受けるとい流れになっ  
ています。STEPではこの3号研修の養成機関として登録をしているので、必要があれば直ぐにでも  
けんしゅう かいさい どうきょうと むりよう こうしゅう かいさい もう こ じゅこう  
研修を開催することができます。東京都でも無料で講習を開催していますが、申し込みから受講で  
きるまでが3ヶ月ほどかかります。他にも養成機関はありますが(東京都では40力所程度)登録してい  
るだけで実際の開催頻度は不明ですし、受講料が数万円(知る限りでは最高6万円)になるところも  
あります。さら じっちけんしゅう しどうしや しゃれい しはら ところ  
更に実地研修について指導者に謝礼を支払わなければならない所もあり、そうすると  
じぎょうしよ きんせんてきふたん おお うえ いりよう ていきょう かいごほうしゅう ふ  
事業所の金銭的負担が大きくなる上に、医療ケアを提供しても介護報酬が増えるわけでもなく、  
じむてき てま ふ せっきよくてき いりよう じっし じぎょうしよ ふ  
事務的な手間が増えるなどで、積極的に医療ケアを実施する事業所があまり増えていかないとい  
げんじょう  
現状があります。

すてっぷ せいど まえ いりよう ていきょう いほうせいそきやく  
STEPではこの制度ができる前から医療ケアを提供してきました(違法性阻却)。  
もちろん からだ しょう きざい し く ちゅういてん かんたん こうぎ えんしゅう おこ うえ げんぼ い  
勿論、体や使用する器材の仕組み、注意点、などの簡単な講義と演習を行なった上で現場に行っ  
てもらいましたが、事故を起こす事もなく ケアができていました。この制度ができた事で医療ケアに関わ  
る事業所が増えてきたようには感じていますが、そうは言っても「あたりまえの介護の業務」になつたと  
い 言えるにはまだまだ程遠く、この制度が出来た事で医療ケアの環境が大きく変わったとは全く思え  
ない状況なのです。制度ができて12年。その間に制度の見直しなどは殆ど行われていません。そ  
ろそろ、もっと実用性の高い制度となるよう見直しを行なうべき時期なのではないかと感じています。

## 03 その他

### 1)STEPえどがわの活動報告(2023)と活動方針(2024)・会計報告

#### ■2023年度活動報告

コロナ5類移行となり、積極的活動再開の年度となった。その中でも数年前から継続的に  
行っている活動として、防災とバリアフリー演劇があり、どちらもとても良い形になってきたと感じる。

今回で3回目となる広域避難訓練は、市川市国府台にある千葉商科大学校舎を借り、1泊2日60人規模にて訓練を行うことができた。前回での課題であった避難先までの距離と、移動手段等を考慮し行った。回を重ねるごとに課題整理に繋がっていると強く感じる。映像にまとめたことで、資料等での有効活用の幅も広がった。

地元開催の劇団風とのバリアフリー演劇も昨年度に続き2回目となる(演目:星の王子さま)。今年度は文化庁の助成金対象から外れてしまったため、費用捻出のためクラウドファンディングを実施。沢山の  
方の応援により上演を実現。クラファン効果も相まってか、普段STEPと関わりのない多くの方々にも来場いただきSTEPを知ってもらい良いきっかけになったのではないかと感じる。観覧申込みは数日で定員に達し、嬉しい悲鳴となった。劇中の一部にスタッフも俳優さんとともに出演し、よりコラボ感を高めることができた。

自立支援のあり方として、意思決定支援の難しさを実感した年度でもあった。STEP内でも議論を重ね、関係者にも協力を求めて導き出した方向性とその経緯は、STEPの力を底上げできたのではないかと  
思う。

65歳を迎えた利用者のSさんは、重度訪問介護の支給量を増やすことは叶わなかったが、介護保険の申請を断り、年に1回の確認程度で済んでいる(強引な申請要求はされていない)ことは良かった。さらに、3歳から将来を見越して関わりを作ってきた医療的ケア児のE君の地元の小学校(通常級)への就学を果たすことに関われたことも、大きな成果であった。また、江戸川区の地域自立支援協議会に  
蛭川が構成員として加入できたことも、江戸川区との関係を深める上で重要なことであった。

夏記ロスを皆で補い合おうと努力したこともあってか、経営的には数年ぶりに黒字決算で終わることができた。

<取り組めた事業>

1. 個別相談・I L P
2. 医療的ケア児支援(地元小学校の通常級への就学決定)
3. 会議、研修、イベントのオンライン対応
  - ・情報保障の拡大充実と運用方法の確立・各種のミーティング、ヘルパー研修
  - ・第5回映画上映(こころの通訳者たち) & トークショー
  - ・対面 & オンラインを合わせたハイブリッド研修を積極的に開催
4. バリアフリー演劇「星の王子さま」& 劇団風とナクセイバーコラボ上演
  - 山梨公演における夢宙センターの劇団「夢屋」と劇団風とのコラボ上演
5. 市川市国府台の千葉商科大学校舎を借り、集団広域避難訓練実施
6. 鈴音キャラバン(鈴音と男女のコーディネーターによる他のCIL訪問)
7. JIL-JICA国際協力事業国内研修
8. 中学生の職場体験チャレンジ・ザ・ドリーム 2校
9. 小学校出前授業 4校 大学講義 5大学
10. 江戸川区の介護保障を確立する会の活動
11. EMINBO(江戸川みんなの防災プロジェクト:みんな助かるみんなで助かる)活動
12. えどがわさんしょうがいフォーラム

■2024年度活動方針

今年度で3回目となる劇団風とのコラボ企画「バリアフリー演劇」。昨年度は観覧募集開始後数日で定員に達してしまっただけから、初の2日間公演を企画した。誰でも楽しめるように工夫されたバリアフリー演劇を、より多くの人に知ってもらい、そして楽しんでほしい。

防災では、被災時の本部運営に焦点を当てる。これまで水害に焦点を当て避難を行ってきたが、地震も考慮し発災時の事務所運営を具体的にどうするか、介助派遣をどう維持していくかを検討し、訓練も実施する。その準備段階としてデータのクラウド化も検討し、被災時でもデータへアクセスできる仕組みを目指す等、改めて問題点や課題を洗い出し、BCPのバージョンアップを図る。

JIL-JICA国際協力事業では最終年度となり、STEPからは8月にベトナム、9月にモンゴル渡航が予定されている。渡航がままならない時期もあったが、オンラインで現地のCILと繋いだり、国内のみで研修を行ったりと準備を重ねてきた。これを通じて他CILとのつながり、他国の現状などに触

れ、その経験<sup>けいけん</sup>をSTEPでの活動<sup>かつどう</sup>にフィードバック<sup>すてっぷ</sup>していく。昨年<sup>さくねん</sup>に続き<sup>つづ</sup>実施<sup>じっし</sup>する鈴音<sup>すずね</sup>キャラバンも同様<sup>どうよう</sup>である。

個別<sup>こべつそうだん</sup>相談<sup>いりようてき</sup>では、医療<sup>じ</sup>的<sup>しゅうがく</sup>ケア<sup>かん</sup>児<sup>しえん</sup>の就学<sup>えどがわ</sup>に関する<sup>しんせつ</sup>支援<sup>しゅうがくしえん</sup>、江戸川<sup>けいけん</sup>区<sup>すてっぷ</sup>で新設<sup>かつどう</sup>された<sup>さくねん</sup>修学<sup>つづ</sup>支援<sup>じっし</sup>触れ<sup>すずね</sup>その経験<sup>じぎょう</sup>をSTEP<sup>かつよう</sup>での活動<sup>かん</sup>にフィードバック<sup>すてっぷ</sup>していく。昨年<sup>さくねん</sup>に続き<sup>つづ</sup>実施<sup>じっし</sup>する鈴音<sup>すずね</sup>キャラバンも事業<sup>じぎょう</sup>の活用<sup>かつよう</sup>に関する<sup>かん</sup>支援<sup>しえん</sup>、就労<sup>しゅうろう</sup>特別<sup>とくべつ</sup>事業<sup>じぎょう</sup>の申請<sup>しんせい</sup>、中高<sup>ちゅうこう</sup>年齢<sup>れい</sup>の中途<sup>ちゅうと</sup>障害<sup>しょうがい</sup>者<sup>しや</sup>の自立<sup>じりつ</sup>支援<sup>しえん</sup>のあり方<sup>かた</sup>検討<sup>けんとう</sup>等<sup>とう</sup>に取り組<sup>とく</sup>む。併<sup>あわ</sup>せて介助<sup>かいじよ</sup>派遣<sup>はけん</sup>のあり方<sup>かた</sup>も検討<sup>けんとう</sup>しながら、介助<sup>かいじよ</sup>者<sup>しや</sup>及び<sup>あ</sup>情報<sup>けいほう</sup>保障<sup>ほしょう</sup>のテイク<sup>たい</sup>カー<sup>か</sup>確保<sup>かくほ</sup>のために、複数<sup>ふくすう</sup>の大学<sup>だいがく</sup>等<sup>とう</sup>への働き<sup>はたら</sup>かけを継続<sup>けいぞく</sup>的に<sup>じつこう</sup>実行<sup>じつこう</sup>していく。

今年<sup>こんねん</sup>度の<sup>あら</sup>新たな<sup>とく</sup>取り組み<sup>とく</sup>としては、「インクルーシブ<sup>いな</sup>な学び<sup>な</sup>東京<sup>まな</sup>コンソーシアム<sup>とうきょう</sup>」<sup>い</sup>という<sup>い</sup>インクルーシブ<sup>い</sup>社会<sup>しゃかい</sup>の担<sup>にな</sup>い手<sup>て</sup>を増<sup>ふ</sup>やすことを目的<sup>もくてき</sup>に、都立<sup>とりつこう</sup>高校<sup>こう</sup>での授業<sup>じゆぎょう</sup>を行う<sup>おこな</sup>事業<sup>じぎょう</sup>にJIL・D P I・UNIVA<sup>じる</sup>の3<sup>でい</sup>団体<sup>たい</sup>共同<sup>ごうどう</sup>提案<sup>ていあん</sup>のプログラム<sup>さいよう</sup>が採用<sup>こう</sup>され、4校<sup>いらい</sup>から依頼<sup>う</sup>を受けている。また、浦安<sup>うらやす</sup>市の<sup>いりようてき</sup>医療<sup>じ</sup>的<sup>しゅうがく</sup>ケア<sup>かん</sup>児<sup>しえん</sup>者<sup>しや</sup>の団体<sup>だんたい</sup>（家族<sup>かぞく</sup>会<sup>かい</sup>）から3回<sup>さんかい</sup>の勉強<sup>べんきょう</sup>会<sup>かい</sup>講師<sup>こうし</sup>派遣<sup>はけん</sup>の依頼<sup>いらい</sup>を受け、それぞれ<sup>それぞれ</sup>ダンサ<sup>だん</sup>ナクセイ<sup>な</sup>バー<sup>くせい</sup>の動画<sup>どうが</sup>を活用<sup>かつよう</sup>した機会<sup>きかい</sup>が増<sup>ふ</sup>えることから、改<sup>あらた</sup>めてナクセイ<sup>な</sup>バー<sup>くせい</sup>ショーの動画<sup>どうが</sup>を作成<sup>さくせい</sup>し、リアル<sup>リアル</sup>なショー<sup>にんずう</sup>に人数<sup>にんずう</sup>をかけることなく、効率<sup>こうりつ</sup>よく広く<sup>ひろ</sup>活用<sup>かつよう</sup>できるようにする。さらに、「D P Iと東京<sup>とうきょう</sup>大学<sup>だいがく</sup>大学院<sup>だいがく</sup>教育<sup>くわん</sup>学<sup>がく</sup>研究<sup>けんきゅう</sup>科<sup>か</sup>とのフル<sup>フル</sup>インクルーシブ<sup>いん</sup>教育<sup>くわん</sup>事業<sup>がく</sup>に関する<sup>きょういく</sup>協定<sup>かい</sup>書<sup>しよ</sup>」の目的<sup>もくてき</sup>の一つ<sup>ひとつ</sup>である「学生<sup>がくせい</sup>向けの<sup>きょういく</sup>教育<sup>かい</sup>カリキュラム<sup>かい</sup>開発<sup>かい</sup>」に、NPO<sup>えぬぴー</sup>法人<sup>おー</sup>「境<sup>さかい</sup>を超<sup>こ</sup>えて」の社会<sup>しゃかい</sup>モデル<sup>りかい</sup>を理解<sup>がくせい</sup>する学生<sup>きょういく</sup>教育<sup>かい</sup>カリキュラム<sup>かい</sup>が東大<sup>とうだい</sup>で試験<sup>しけん</sup>的に<sup>てき</sup>実施<sup>じっし</sup>されることが決<sup>き</sup>まり、その実習<sup>じっしゅう</sup>先<sup>さき</sup>としてSTEP<sup>すてっぷ</sup>えどがわの重度<sup>じゅうど</sup>訪問<sup>ほうもん</sup>介護<sup>かいご</sup>利用者<sup>りようしや</sup>に協<sup>きょう</sup>力<sup>りよく</sup>いただく予定<sup>よてい</sup>になっている（2023<sup>ねん</sup>年<sup>がつ</sup>2月<sup>がつ</sup>）

江戸川<sup>えどがわ</sup>区<sup>けんとう</sup>が検討<sup>けんとう</sup>している「障<sup>しょう</sup>害<sup>がい</sup>のある人<sup>ひと</sup>が自分<sup>じぶん</sup>らしく暮<sup>く</sup>らせるま<sup>ま</sup>ち条<sup>じょう</sup>例<sup>れい</sup>（仮<sup>か</sup>称<sup>しょう</sup>）」の動向<sup>どうこう</sup>を注視<sup>ちゅうし</sup>しながら、支給<sup>しきゅう</sup>決定<sup>けつてい</sup>ガイド<sup>ガイド</sup>ライン<sup>ライン</sup>の見直<sup>みな</sup>しを提<sup>てい</sup>案<sup>あん</sup>していくとともに、蛭川<sup>ひるかわ</sup>が委員<sup>いいん</sup>に入<sup>はい</sup>っている江戸川<sup>えどがわ</sup>区<sup>けんとう</sup>地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>自<sup>じ</sup>立<sup>りつ</sup>支援<sup>しえん</sup>協<sup>きょう</sup>会<sup>かい</sup>において、長年<sup>ながねん</sup>要望<sup>ようぼう</sup>してきた部<sup>ぶ</sup>会<sup>かい</sup>がようやく設置<sup>せっち</sup>される機会<sup>きかい</sup>を逃<sup>のが</sup>さず、積<sup>せき</sup>極<sup>ごく</sup>的に<sup>かん</sup>関与<sup>かん</sup>してい

く。その他<sup>ほか</sup>、昨<sup>さく</sup>年度<sup>ねんど</sup>に取り組<sup>とく</sup>めなかつた課題<sup>かだい</sup>（自分<sup>じぶん</sup>たちの就<sup>しゅう</sup>労<sup>ろう</sup>特別<sup>とくべつ</sup>事業<sup>じぎょう</sup>申請<sup>しんせい</sup>等<sup>とう</sup>）はもちろ<sup>もちろん</sup>ん、継続<sup>けいぞく</sup>事業<sup>じぎょう</sup>に對<sup>たい</sup>しては更<sup>さら</sup>に前<sup>まえ</sup>に進<sup>すす</sup>められるよう意識<sup>いしき</sup>し積<sup>せき</sup>極<sup>ごく</sup>的に<sup>かつどう</sup>活動<sup>かつどう</sup>していく。とりわけ、医療<sup>いりようてき</sup>的<sup>じ</sup>ケア<sup>い</sup>児<sup>い</sup>のE<sup>い</sup>君<sup>くん</sup>の小学校<sup>しょうがっこう</sup>生活<sup>せい</sup>が、より良<sup>よ</sup>く発<sup>は</sup>展<sup>てん</sup>継<sup>けい</sup>続<sup>ぞく</sup>できるよう、関係<sup>かんけい</sup>者<sup>しや</sup>との協<sup>きょう</sup>力<sup>りよく</sup>体制<sup>たいせい</sup>もより強<sup>きょう</sup>化<sup>か</sup>していく。またもぐら

い家の<sup>いえ</sup>オンブズマンとしての<sup>やくわり</sup>役割<sup>じりつしえん</sup>と、自立<sup>じりつ</sup>支援<sup>しえん</sup>も同様<sup>どうよう</sup>である。  
NPO)青洞<sup>せいどう</sup>の家<sup>いえ</sup>、社福<sup>しゃふく</sup>)自<sup>じ</sup>靖<sup>せい</sup>会<sup>かい</sup>と連携<sup>れんけい</sup>協<sup>きょう</sup>力<sup>りよく</sup>した日<sup>にっ</sup>中<sup>ちゅう</sup>活<sup>かつ</sup>動<sup>どう</sup>の場<sup>ば</sup>の創<sup>そう</sup>設<sup>せつ</sup>にも寄<sup>き</sup>与<sup>よ</sup>したい。

#### かつどうよていじぎょう <活動<sup>かつどう</sup>予定<sup>よてい</sup>事業<sup>じぎょう</sup>>

1. 個別<sup>こべつしえん</sup>支援<sup>けいぞく</sup>の継<sup>けい</sup>続<sup>ぞく</sup>、I L P<sup>い</sup>の実<sup>じつ</sup>施<sup>し</sup>

2. すてっぷぼうさい えみんぼうかつどう  
STEP防災・EMINBO活動
3. えどがわくちいきじりつしえんきょうぎかいおよ ぶかい ちいせいかつしえんきよてん さいがいじりつしえん さんか  
江戸川区地域自立支援協議会及び2つの部会(地域生活支援拠点、災害時自立支援)への参加
4. かくだいがく こうぎ じんざいかくほ かいじよしゃ  
各大学への講義と人材確保(介助者・テイカー)
5. どうがさくせい へん じょうほうほしやうへん  
ダンサナクセイバー動画作成(スタンダード編、情報保障編)
6. えどがわくないしやうがっこうでまえじゆぎやう  
江戸川区内小学校出前授業
7. げきだんかぜあんど ふつかかん こうえん  
劇団風 & ナクセイバーコラボ 2日間2公演
8. た じょうえん きんりん さんか  
その他ナクセイバー上演、近隣のイベント参加
9. えいが おおぞら じりつ ちやうせん じやうえいかいあんど  
映画「大空へはばたこう～自立への挑戦～」上映会 & アフタートーク
10. じる じゃいかこくさいきやうりよくじぎやうこくないけんしやう かいがいけんしやう  
JIL-JICA国際協力事業国内研修、海外研修
11. すずね た しーあいえるほうもん  
鈴音キャラバン(他のC I L 訪問)
12. すてっぷ ていじ さくせい えすいーじーず  
2030STEPえどがわビジョンの提示、ロードマップ作成(SEGS)
13. そうかつしよけん かつやう たいがいじぎやう だつしせつ ほうしやうかいてい ほうかんけい きほんほう さべつかいしやうほう  
総括所見を活用した対外事業(脱施設、報酬改定、バリアフリー法関係、基本法、差別解消法  
かんけい じやうやくかんけいとうでいーびーあい じる かつどう かんれん ほう ほかけんとうかい しせつ  
関係、条約関係等D P I、JILの活動に関連するもの:バリアフリー法のありかた他検討会、施設  
の在り方検討会(調査研究)、旅館業法接遇研修ツール検討会)
14. まな とうきやう とりつこうこうじゆぎやう  
インクルーシブな学び東京コンソーシアムによる都立高校授業
15. でいーびーあい とうだい きやういくきやうてい もと とうだいしやうちゆうこうぎ じっしやう う い  
D P I -東大フルインクルーシブ教育協定に基づく東大集中講座の実習受け入れ

書式第13号（法第28条関係）

2023年度 活動計算書			
2023年 4月 1日から 2024年 3月 31日まで			
特定非営利活動法人 自立生活センター STEPえどがわ			
(単位：円)			
科目		金額	
<b>I 経常収益</b>			
1 受取会費			
正会員受取会費			
賛助会員受取会費		15,000	15,000
2 受取寄附金			
受取寄附金		35,878	35,878
3 受取助成金等			
江戸川区社会福祉協議会【1】障害当事者によるピアサポート活動		100,000	
江戸川区社会福祉協議会(共同募金)【2】映画上映会		160,000	
夢風基金【3】避難訓練		200,000	
高齢障害者求職者雇用支援機構(住宅助成金)		883,176	
重度障害者等通勤対策助成金(駐車場助成金)		99,000	
東京都中小企業障害者雇用支援助成金		330,000	
東京しごと財団働くババママ育児応援奨励金		1,250,000	
			3,022,176
4 事業収益			
自立支援事業			
体験ルーム利用料	60,500		
介助派遣自費利用	222,070		
その他	703,070		
		985,640	
権利擁護を推進する事業			
イベント収入(参加費、入場料など)	89,040		
講師謝礼収入	1,638,504		
その他	21,440		
		1,748,984	
総合支援法の障害福祉サービス事業		234,416,438	
介護保険法の居宅介護サービス事業		9,219,393	
居宅介護従事者養成研修事業		745,008	
			247,115,463
5 雑収入			
		0	0
経常収益計			250,188,517
<b>II 経常費用</b>			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	143,652,180		
賞与	40,295,338		
通勤交通費	5,419,826		
法定福利費	25,020,411		
福利厚生費	969,509	215,357,264	
(2)その他経費			
広告宣伝費	46,308		
運営費【2】上映会	1,130		
印刷外注費	277,670		
印刷外注費【2】上映会	1,280		
印刷外注費【4】バリアフリー演劇	2,178		
会場費	13,230		
会場費【1】ピアサポート活動	128,970		
会場費【2】上映会	21,620		
会場費【4】バリアフリー演劇	123,610		
会場設営費	500		
会場設営費【2】上映会	55,000		
会場設営費【4】バリアフリー演劇	100,104		
貸借料	1,524,000		
修繕費	33,000		
消耗品費	15,340		
消耗品費【1】ピアサポート活動	3,104		
消耗品費【3】避難訓練	1,645		
消耗品費【4】バリアフリー演劇	1,603		
水道光熱費	74,753		
旅費交通費	153,490		
支払手数料			
支払手数料【3】避難訓練	330,000		
諸謝金	31,000		
諸謝金【2】上映会	20,000		
諸謝金【3】避難訓練			
情報保障費	100,734		

資料 2

情報保障費【2】上映会	119,240		
情報保障費【4】バリアフリー演劇	15,000		
支払保険料			
租税公課			
減価償却費			
接待交際費	15,000		
通信費	70,664		
諸会費	3,000		
車両関連費			
新聞図書費	112,200		
貸倒引当金繰入			
顧問料			
会議費			
会議費【2】上映会	9,752		
会議費【4】バリアフリー演劇	39,683		
研修費			
保守管理費			
食材費	222,319		
リース料			
寄付金			
雑費			
		3,667,127	
事業費計			219,024,391
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	8,680,200		
賞与			
通勤交通費	0		
法定福利費	1,198,204		
福利厚生費	0	9,878,404	
(2)その他経費			
広告宣伝費	220,000		
運賃	17,000		
印刷外注費	4,300		
会場費			
会場設営費			
貸借料	6,613,736		
修繕費	152,800		
事務消耗品費	399,000		
消耗品費	668,138		
水道光熱費	337,450		
旅費交通費	116,840		
支払手数料	327,159		
諸謝金	10,000		
情報保障費			
支払保険料	658,161		
租税公課	6,350		
減価償却費	1,369,560		
接待交際費	244,517		
通信費	1,053,021		
諸会費	1,413,917		
車両関連費			
新聞図書費	22,440		
貸倒引当金繰入	1,420		
顧問料	2,709,188		
会議費			
研修費	638,648		
保守管理費	295,746		
食材費			
リース料	1,317,574		
寄付金	500,000		
雑費	406,215		
	0		
	0	19,503,180	
管理費計			29,381,584
経常費用計			248,405,975
当期経常増減額			1,782,542
III 経常外収益			
受取利息	19,941		
その他	0	19,941	
経常外収益計			19,941
IV 経常外費用			
支払利息	0		
その他	0	0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			1,802,483
法人税、住民税及び事業税			420,000
当期正味財産増減額			1,382,483
前期繰越正味財産額			35,562,362
次期繰越正味財産額			36,944,845

書式第16号(法第28条関係)

令和5年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人 自立生活センター STEPえどがわ

1. 重要な会計方針  
 計算書類の作成は、会社会計規則 によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
 対象資産なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
 定額法
- (3) 引当金の計上基準
  - ・退職給付引当金  
 なし
  - ・引当金
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
 なし
- (5) 消費税等の会計処理  
 税込み

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	自立支援	権利擁護	障害福祉	介護保険	養成研修	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>						0		
1. 受取会費						0	15,000	15,000
2. 受取寄附金						0	35,878	35,878
3. 受取助成金等						0	3,022,176	3,022,176
4. 事業収益	985,640	1,748,984	234,416,438	9,219,393	745,008	247,115,463	0	247,115,463
<b>経常収益計</b>	<b>985,640</b>	<b>1,748,984</b>	<b>234,416,438</b>	<b>9,219,393</b>	<b>745,008</b>	<b>247,115,463</b>	<b>3,073,054</b>	<b>250,188,517</b>
<b>II 経常費用</b>								
(1) 人件費								
給料手当	565,111	1,016,768	136,277,517	5,359,675	433,109	143,652,180	8,680,200	133,997,031
賞与	158,517	285,210	38,226,699	1,503,423	121,490	40,295,338	0	22,427,955
通勤交通費	21,321	38,361	5,141,589	202,214	16,341	5,419,826	0	4,239,147
法定福利費	98,427	177,094	23,735,940	933,514	75,436	25,020,411	1,198,204	24,627,824
福利厚生費	3,814	6,862	919,737	36,172	2,923	969,509	0	798,819
<b>人件費計</b>	<b>847,190</b>	<b>1,524,296</b>	<b>204,301,481</b>	<b>8,034,998</b>	<b>649,298</b>	<b>215,357,264</b>	<b>9,878,404</b>	<b>225,235,668</b>
(2) その他経費								
広告宣伝費			46,308			46,308	220,000	266,308
運賃		1,130				1,130	17,000	18,130
印刷外注費	4,160	225,488	51,480			281,128	4,300	285,428
会場費	128,970	158,460				287,430		287,430
会場設営費		155,604				155,604		155,604
賃借料	1,524,000					1,524,000	6,613,736	8,137,736
修繕費	33,000					33,000	152,800	185,800
事務消耗品費						0	399,000	399,000
消耗品費	5,580	14,992			1,120	21,692	668,138	689,830
水道光熱費	74,753					74,753	337,450	412,203
旅費交通費	700	152,790				153,490	116,840	270,330
支払手数料		330,000				330,000	327,159	657,159
謝礼金		40,000				51,000	10,000	61,000
情報保障費		234,974				234,974		234,974
支払保険料						0	658,161	658,161
租税公課						0	6,350	6,350
減価償却費						0	1,369,560	1,369,560
接待交際費		15,000				15,000	244,517	259,517
通信費	60,500	10,164				70,664	1,053,021	1,123,685
贈金費		3,000				3,000	1,413,917	1,416,917
車両運賃費						0		0
新聞図書費		42,200			70,000	112,200	22,440	134,640
貸倒引当金繰入						0	1,420	1,420
顧問料						0	2,709,188	2,709,188
会議費		49,435				49,435		49,435
研修費						0	638,648	638,648
保守管理費						0	295,746	295,746

資料2

食料費		222,319				222,319		222,319
リース料						0	1,317,574	1,317,574
寄付金						0	500,000	500,000
雑費						0	406,215	406,215
						0		0
						0		0
						0		0
						0		0
法人税等充当額						0	420,000	420,000
その他経費計	1,831,663	1,855,556	97,788	0	82,120	3,867,127	19,923,180	23,590,307
経常費用計	2,678,853	3,179,852	204,399,269	8,034,998	731,418	219,024,391	29,801,584	248,825,975
その他収益								
貸倒引当金戻入								
受取利息							19,941	19,941
その他費用								
支払利息							0	0
当期経常増減額	-1,693,213	-1,430,668	30,017,169	1,184,395	13,590	28,091,072	-26,708,589	1,362,483

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

(単位:円)

内容	金額	算定方法
当該 なし		

4. 用途等が制約された寄附金等の内訳

用途等が制約された寄附金等の内訳(正味財産の増減及び残高の状況)は以下の通りです。  
 当法人の正味財産は 円ですが、そのうち 円は、下記のように用途が特定されています。  
 したがって用途が制約されていない正味財産は 円です。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
当該 なし					
合計					

5. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	6,932,709			6,932,709	6,932,708	1
車両運搬具	153,000			153,000	152,999	1
什器備品	3,157,000			3,157,000	3,125,366	31,634
リース資産						
無形固定資産						
投資その他の資産						
敷金	1,765,536			1,765,536		
保証金	60,000			60,000		
合計	12,068,245	0	0	12,068,245	10,211,073	31,636

6. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0		0	0
合計	0	0	0	0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		

活動計算書計 (貸借対照表)		
貸借対照表計		

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項
- ・ 事業費と管理費の按分方法
  - ・ その他の事業に係る資産の状況

## 2) 会員制度「ダンスなくし隊」の紹介「隊員募集！」

STEPえどがわでは会員制度をリニューアルし「ダンスなくし隊」としてスタートしました。そのなかで誰もが住みやすい街を目指したMMIプロジェクト「瑞江の街まちを、めちゃめちゃ、インクルーシブな街へ」を行っています。瑞江のお店に段差を解消するためにスロープを置いたり聴覚障害者等とのコミュニケーションを補助する筆談ボードを置かせてもらったりと、誰もがどんな時でも暮らしやすい街づくりを目指した活動です。STEPえどがわの活動を応援して下さい方を募集しています。





## 選べるサポート形態



### マンスリーサポーター



マンスリーサポーターとは、毎月定額を寄付して頂くことで活動をご支援いただくSTEPえどがわの新会員制度です。



### 正会員、賛助会員



毎年定額を寄付して頂くことで、活動をご支援いただく会員制度です。正会員には総会での議決権があり、STEPえどがわの運営等にも積極的な関与をご希望される方が対象です。



### ご寄付



ご都合のよい時に、ご自由な金額・回数でご寄付いただけます。いただたご寄付は、誰もが住みやすいインクルーシブなまちづくりに有効に活用させていただきます。

詳しくはSTEPえどがわのホームページをチェックしてください♪

「ダンスなくし隊、隊員募集!!」

<http://www.step-edogawa.com/dansa-nakushitai/>



はっこう  
発行

とくていひえいりかつどうほうじん  
特定非営利活動法人

じりつせいかつ すてっぷ  
自立生活センターSTEPえどがわ

とうきょうとえどがわくみなみしのぎきまち  
〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町3-9-7

でんわ ふあつくす  
TEL 03-3676-7422 FAX 03-3676-7425

うえぶ  
WEB <http://www.step-edogawa.com>

めーる  
Mail [main@step-edogawa.com](mailto:main@step-edogawa.com)

へんしゅう  
編集

しゅうろうけいぞくしえんびーがたじぎょうしょ  
就労継続支援B型事業所

トリコローレ

とうきょうとえどがわくえどがわ かい  
〒132-0013 東京都江戸川区江戸川2-33-21 1階

でんわ ふあつくす  
TEL 03-6638-9308 FAX 03-6638-9307

うえぶ  
WEB <http://www.tricolore-gp.org>

めーる  
Mail [info@tricolore-gp.org](mailto:info@tricolore-gp.org)

